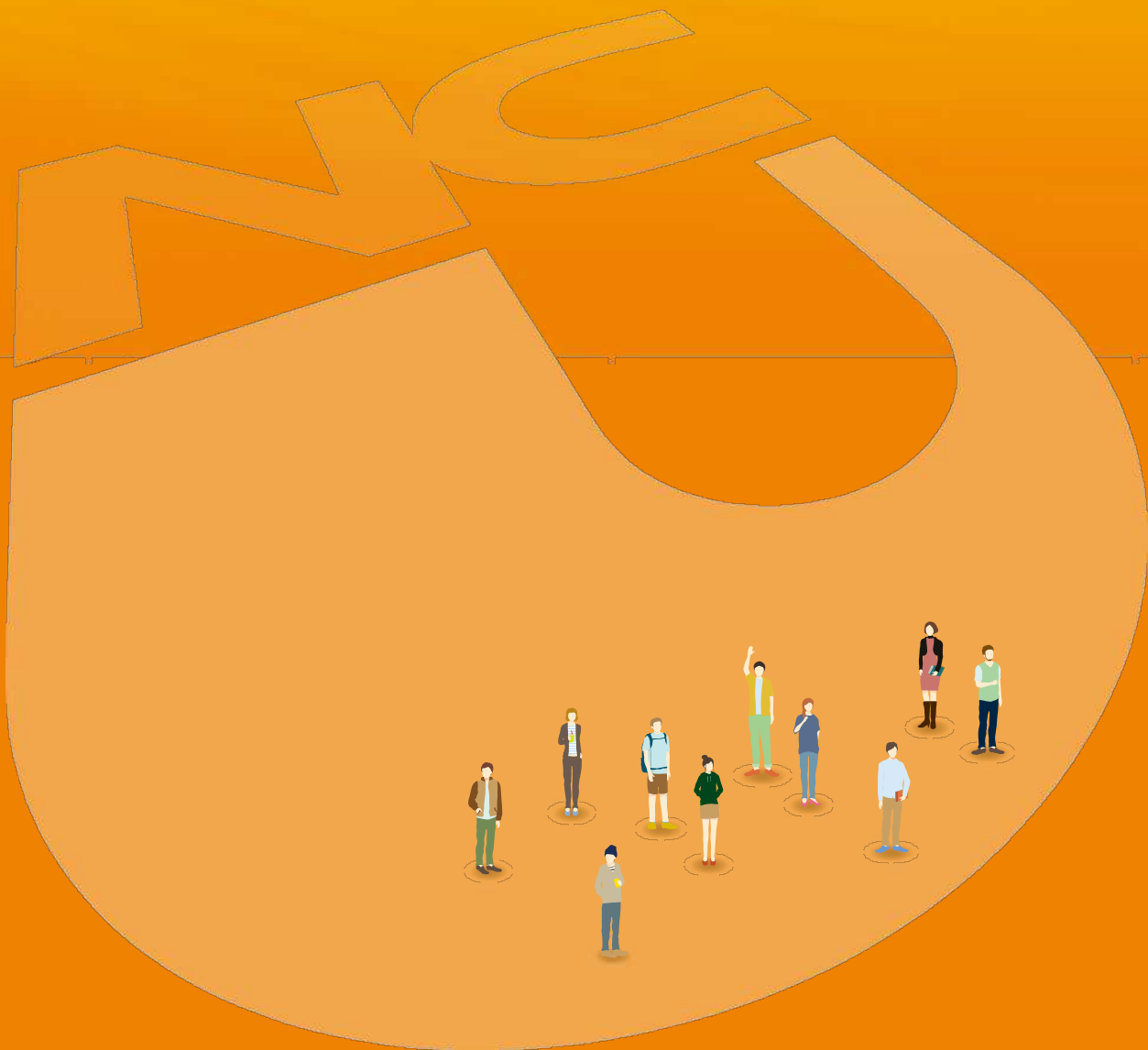


NAGOYA CITY UNIVERSITY



School of Humanities and Social Sciences

NC 名古屋市立大学
人文社会学部

2024

名古屋市立大学 **人文社会学部**



沿革 HISTORY

平成 8年(1996)

名古屋市立大学に人文社会学部設置
 名古屋市立女子短期大学、名古屋市立保育短期大学、名古屋市立大学教養部の三者が統合、改組され、新しく人文社会学部・芸術工学部と自然科学研究教育センターが誕生した。人文社会学部には人間科学科、現代社会学科、国際文化学科が設置された。

平成 12年(2000)

大学院人間文化研究科修士課程設置

平成 14年(2002)

大学院人間文化研究科博士課程設置

平成 15年(2003)

名古屋市立大学の大学院重点化にともない、大学院人間文化研究科が部局化

平成 17年(2005)

人間文化研究科附置研究所として、人間文化研究所設立

平成 18年(2006)

名古屋市立大学は法人化され、公立大学法人名古屋市立大学が設置者となる。

平成 25年(2013)

学部を再編し、人間科学科を心理教育学科に名称変更

CONTENTS

沿革2

人文社会学部
 学部長挨拶/アドミッション・ポリシー
 教養教育3
 教養教育科目の特色/ESDとは?5

心理教育学科
 教員の研究紹介/卒業論文の紹介7
 富田ゼミ/上田ゼミ9
 カリキュラムの特色/教員リスト11
 取得できる免許・資格
 心理教育学科の施設/授業紹介13

現代社会学科
 教員の研究紹介/卒業論文の紹介15
 松村ゼミ/馬渡ゼミ17
 カリキュラムの特色/教員リスト19
 授業紹介21

国際文化学科
 教員の研究紹介/卒業論文の紹介23
 市川ゼミ/Castiglioniゼミ25
 カリキュラムの特色/教員リスト27
 フィールドワーク/留学29

留 学
 国際交流センター/留学先一覧31

免許資格
 採用試験・資格試験合格者の声33

学校推薦型選抜34

学生生活
 学生の1週間35

学生・就職支援36

卒業後の進路
 就職実績/就活・進学体験記37

学生生活
 Campus Life!39

Information List
 入試情報/お問い合わせ41
 地域貢献・大学の活動など/同窓会42

人文社会学部 学部紹介

学部長挨拶



大学院人間文化研究科長
人文社会学部長

久保田 健市

くぼた けんいち

現代を照らす人文社会科学の「星座」を描こう

夜空を飾る星座は、古代エジプト人が夜空を細かな領域に分け、種蒔きの時期などを知ろうとしたところから始まったそうです。現代では夜でも明るくて、星空を見上げる機会は少なくなったのかもしれませんが、人は何にも迷わず惑わず、豊かさのみを享受する生活を送れているでしょうか。

いま、さまざまな機会で見られる「17の持続可能な開発目標」(SDGs)を見ても、貧困・教育・さまざまな不平等、平和と公正など、人文科学・社会科学の貢献が求められる課題がたくさんあります。確かに人類の文明は発展しましたが、未解決のままの社会問題は山積しており、混乱の中で人々は暮らしています。いまでも、いや、いまだからこそ、何をなすべきか、どう進めばいいかを指し示す星座のような存在を、人は求めているのではないのでしょうか。

名古屋市立大学の人文社会学部は、心理教育学科、現代社会学科、国際文化学科の3学部での学びを通じて、高度で確かな人文科学・社会科学の知で世界を照らし、人と人をつなぎ、人と世界を動かし変えていくことのできる人材を育成したいと考えています。1等星でなくていい。小さく弱い光でも他の星と結ばれながら1つの図を描き、世界に何かを指し示せるように—そんな思いに共鳴していただけたら、人文社会学部の扉を開いてみませんか。

筑波大学第二学群人間学類卒業

博士(心理学)

専門: 社会心理学、集団心理学

論文: Relations between temperament and metacognition and frames of reference in behaviors in public situations in early and middle Adolescence: An analysis of age states. *Frontiers in Education*, 06 February, 2018年(共著)

持続可能な開発のための教育に対する心理学・教育学の貢献と可能性 名古屋市立大学人間文化研究所年報, 11, 35-43, 2016年
CMCにおける立場の平等化と「隠れたプロフィール」問題 人間文化研究, 12, 1-13, 2009年

社会的カテゴリー化により導入された少数派、多数派および第三者の集団間差別行動と認知 心理学研究, 68, 120-128, 1997年

人文社会学部 学部紹介・教養教育

Admission policy アドミッション・ポリシー

人文社会学部では次のような人の入学を期待しています。

求める学生像

- 人間・社会・文化に関わる諸問題に関心を持ち、その緩和または解決に向けて、学際的な知識と柔軟な発想力をもって積極的に取り組む人
- 日常、当たり前になっている習慣や規範、考え方を客観的に捉え直し、国内外における現代的課題に対して、根本的にかつ多角的にアプローチできる人
- 学ぶ意欲があり、さまざまな人との出会いや新たな経験に主体的である人

教養教育

- 教育目標**
1. 教養教育では、学生が社会の一員としての自己のあり方を認識し、自らよりよく生きる生き方を探求し、あわせて社会全体の幸福の実現にむけて貢献できるような人間形成をはかるとともに、専門教育への確かな土台を築くことを目標とする。
 2. 大学が目標に掲げる〈持続可能な共生社会〉〈健康と福祉の向上〉〈次世代育成支援〉〈地球環境の保全と社会環境の整備発展〉の実現に寄与する科目を修得させることによって、地域社会および国際社会に貢献することができる人材を育成する。

大学特色科目の紹介

初年次教育科目

- ① NCUラーニング・コンパス
- ② キャリアデザイン
- ③ ヘルシーライフ
- ④ SDGsを考える: 医療系
SDGsを考える: 自然系
SDGsを考える: 数理情報系
SDGsを考える: 社会科学系
SDGsを考える: 人文系

地域特色科目

- ① 名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題
- ② 科学館・博物館・美術館から知る名古屋
- ③ 名古屋の歴史
- ④ 大学生から始めるESD
- ⑤ まちづくり論

人文社会学部 教養教育

教養教育科目の特色

大学の授業科目は幅広い学問的知識やコミュニケーション能力を養う教養教育科目と、専門分野を深く学ぶ専門教育科目から構成されています。名古屋市立大学の教養教育科目には、他の大学とは異なる、名古屋市立大学らしい個性的なプログラムが用意されています。



ESD基礎科目「多文化共生の心理学」

大学特色科目

名古屋市立大学にはさまざまな学問分野を専攻する学部、研究科があります。教養教育では、自分の属する学部以外の教員から、その分野の入門的な知識や、研究の最先端に関わるような講義に接することができます。名古屋市立大学の研究・教育の特色をあらわす「大学特色科目」を学び、幅広い教養を身につけてください。

語学カリキュラム

名古屋市立大学の語学カリキュラムは“Language for Global Citizenship: Plant Your Own Seeds”を理念とし、語学教育（「英語」、[その他の言語]）をglobal citizenship教育の一環と位置づけ、学生の主体性と興味を重視し、多様な学習環境を提供します。

英語：4区分17科目から選択

4区分	17科目
A: I ssues in S ociety 英語で講義/ディスカッション	Community; Social Justice; Life & Work; Health & Well-being; The Arts
B: A ction in E nglish 英語で行動・発信・プロジェクト	Make a Difference in Your Community; Interact Internationally; Improve Life Skills; Raise Health/Environmental Awareness; Produce a Movie
C: C ore S kills in English スキル別に伸ばす	Presentation; Grammar and Usage; TOEIC Preparation; Writing
D: E nglish through M edia 好きな媒体を通して	World News; Popular Culture; Reading for Inspiration; Online Articles and Videos

その他の言語：ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、日本手話、ポルトガル語、ロシア語、イタリア語、アラビア語から選択

English Language Program at Nagoya City University

Here at NCU, we have developed an English language program that gives you many choices for how you want to learn. Are you interested in world issues? Do you want to give a professional presentation? Increase your vocabulary and grammar knowledge? How about exploring a novel or making a movie? Our program offers this and much more. We challenge you to aim high in your goals for exploring the world through English. We are excited about this new program, and we are sure that you will enjoy using English in ways you have not yet thought about. How excited will you be to see your own progress and success in using English? We welcome you to this new program and look forward to supporting you in achieving your language - and life - goals.

SALC (サルク:Self-Access Learning Center 英語自主学习センター)

SALCは、学生一人ひとりが自主的に英語を学ぶための“English Only”の空間です。通常の授業とは異なり、自分の目的やニーズにあわせ、思い思いのペースで英語を「聞く、読む、話す、書く」力を伸ばすことができます。英文書籍・CD・DVDなどの各種英語教材やパソコン・iPadが置いてありますので、さまざまな教材やアプリケーションを利用して、英語の自主学习ができます。SALCには、ネイティブの教員やスチューデント・アシスタントが在室し、利用者の英語学習をサポートしています。We often get together to talk over lunch. Come and join us!

人文社会学部 専門教育

ESDとは?

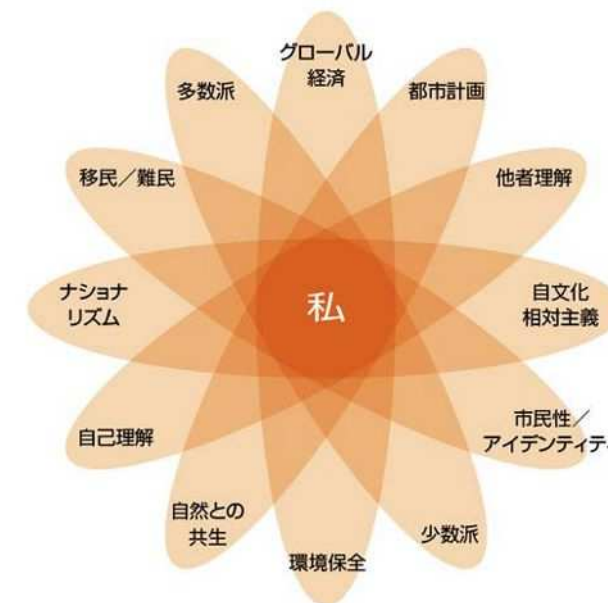
ESD (Education for Sustainable Development)

自然や他者との関わりを通して地球社会および人間存在を問うとともに、私たち一人ひとりの「持続可能な生き方／あり方」を捉え直す教育

人文社会学部ではESDとは何か、また持続可能な社会とはどのような社会であるのかを学ぶESD基礎科目が設定されており、1年生から履修することができます。

ここでは、持続可能性に関する諸課題をまずは知ること、自身の「当たり前」を捉え直すことに挑戦します。国際社会で問題視される持続可能性に関する課題を地球規模の課題と地域課題に分け、人間と自然、自己と他者、個人と社会という3つの観点から捉え直します。ここで扱う12テーマが私たち一人ひとりにどのように関わっているのかを考えます。

ここでの気づきをもとに各学科での専門教育のもとで、持続可能な社会形成に求められる知識やスキルを習得していきます。



ESD基礎科目で扱うテーマ

	地球規模の課題(前期)	地域課題(後期)
人間と自然	グローバル化と経済開発	都市開発と自然との共生
自己と他者	多文化共生	自文化理解
個人と社会	人の移動とグローバル・シティズンシップ	マイノリティと共生

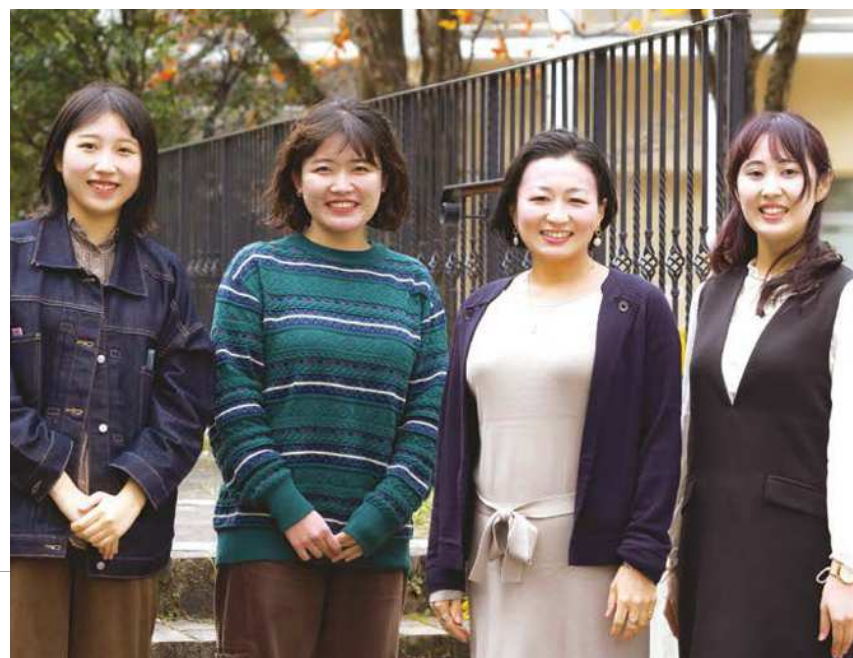
気候変動や経済格差、金融危機といった現代的な諸問題は深刻化しています。それは、異常気象や不安定な経済状況といった現象からも明らかです。しかしながら、普段の生活に追われていると、こうした問題には無関係と漠然としている人や、誰かが、または国が対応すればよいと考えている人も少なくないかもしれません。今、国際社会で問題視されているのは私たち人間一人ひとりの生き方です。

ESDは、平和や多文化共生、環境保全といった持続可能性に関する諸課題と私たちの暮らしや営みとのつながりを考える教育活動です。さまざまな「生きづらさ」の中で暮らしている他者の存在を知り、何が原因であるのかを多角的に捉えます。またその問題に自分自身の生活がどのように関わっているのかを考えます。子ども、若者、大人、高齢者、障がい者、女性、男性、セクシュアル・マイノリティ、先住民、外国にルーツのある人、教師、労働者…、誰も置き去りにすることなく、一人ひとりが生きられる社会をつくることを目指すのがESDです。



心理教育学科 学科紹介

学問のすすめ 教員の研究紹介



博士(人間科学)

曾我 幸代

そが さちよ

持続可能な社会づくりに向けた教育とは何かを考える

ESD (Education for Sustainable Development) は、持続可能な社会づくりのために求められる価値観・行動・ライフスタイルを学ぶ教育活動です。私たち人間の活動が生態系に影響を及ぼす人新世の時代において、「持続可能な開発」は必至であり、それを通して循環型社会にしていくことが求められています。持続可能な開発とは、これまでとは異なるオルタナティブな開発モデルとは何かを考え、それを実行していくプロセスそのものであります。そうした考えを教育および学習のあらゆる側面に浸透させていこうとしたのが、ESDです。

1992年にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された地球サミットでは、持続可能な開発の重要性が説かれました。当時12歳のセヴァン・スズキがその会議の場でスピーチをしたことは有名です。彼女は、学校で、いや幼稚園でさえ、あなたたち大人は私たちにするなということを教えてくれるが、あなたたち大人はなぜ私たちにするなという行いをしているのかと訴えました。

さて、あなたなら、この問いにどう応えますか？

教育という営みは、何のためになされているのでしょうか。自然および他者との共生について、私たちは学校のみならず、地域社会でもどうふるまうか、なぜ人や自然を傷つけてはならないのかを学びます。その学びが私たちの日々の暮らしや営みに現れているのかが問われているのです。教室の中だけで、つまりは試験でよい点をとれば、学びが完結するものではありません。教室を超えて学びが社会に還元されることが求められています。

心理教育学科では、人文社会学部のESDの基礎科目をもとに、これまでの開発にともなった発達観や子ども観、教育観を問い直し、持続可能な社会づくりにつながる教育環境について、心理学・教育学・保育学はもちろんのこと、その関連領域の視点から多角的かつ包括的に学びます。苦しさや悩み、悲しみ、つらさをもつ他者とともにいる理論や技法を学び、持続可能な社会形成につながる人間の環境づくりについて、心理教育学科での学びをぜひ活かしてみてください。

4年間の学び 卒業論文の紹介



心理教育学科 早川 実希

社会教育を通じた持続可能なまちづくり

—岡山地域の公民館を拠点としたESD実践から—

現代では、地球温暖化をはじめとする環境問題や貧困の格差の拡大、人権問題など様々な課題が私たちを取り巻いています。私は以前からこのような課題に関心を持ち、持続可能な社会をつくるためには何が必要なのか考えていました。そして、曾我ゼミでSDGsやESDの考え方を学び、行政や企業と協力してプロジェクトに取り組むうちに、「持続可能な社会の担い手を育てる学び」すなわちESDこそが、人々の何気ない意識や行動・習慣を変え、持続可能な社会をつくるカギになると考えました。そこで卒業論文では、公民館を拠点に地域全体でESD実践に積極的に取り組む岡山市の事例に注目し、ESDとしての社会教育が持続可能なまちづくりを実現することを考察しています。論文執筆を通して、私自身も公民館をはじめとする住民参画の機会を大切に、持続可能なまちづくりに関わっていきたいと思っています。

視線方向が顔表情のカウンティングに与える影響

私たちは相手の顔を見たときに、瞬時にその人の表情や、どこを向いているのかを読み取ることができます。また、複数人のうち、ある表情の人がどれくらいいるのかを正確に読み取ることは、コミュニケーションのうえで重要な役割を果たします。私は表情を持つ情報と、視線を持つ情報との一致度に着目し、より正確に表情と数を計るにはどうすればよいのか研究しています。

研究のためには特殊な機材を使用することもあります。私は実際にイトラッカーという装置を用いて、実験に協力してくださった方の視線を計測しました。初めは使い方も分からず、先輩に聞いたり、英語のマニュアルを読んだりして、試行錯誤しながら実験を行っていました。自分が興味を持ったテーマに関して問いを立て、一つの研究としてまとめるまでには上手くいかないことも多いですが、先生方やゼミの仲間、さらには実験に協力してくれた沢山の人の支えがあってこそできることだと実感しています。人とのつながりの中で学びを深められるところが心理教育学科の大きな魅力だと思います。



心理教育学科 山本 一華



心理教育学科 坂本 茉優

保育士養成校におけるピアノレッスンの効果

保育の分野において「音楽活動」は、コミュニケーション能力、主体性、自発性、自己表現能力、集中力、社会性など、乳幼児の様々な能力を育むことができるものとして、日々の保育に取り入れられています。今回は卒業論文を執筆するにあたり、そんな音楽活動を支える「保育者のピアノスキル」に注目しました。保育士養成校に通う学生、約80名のアンケート調査の結果から、より効果的なピアノレッスンを展開するにはどのような方法を用いることができるか、考察を重ねています。

アンケート調査を行ったことで、思いがけず、学生には様々な「ピアノを頑張る理由」があることも分かりました。4月から保育士として働きますが、それぞれの先生の保育にかける想いについて知ることで、自らの保育観を更新していきたいという気持ちが強まりました。

心理教育学科 学科紹介

心理教育学科

心理教育学科

富田ゼミ 臨床心理学



産業・臨床心理学



心理学は、個人の問題から社会的な側面まで幅広く、人間の行動や心の複雑な側面を解明しようとする学問です。その中で、働く人の心や行動を支援する学問として産業・臨床心理学があります。産業・臨床心理学では心理学の理論や手法を基に、働く人の幸福と成果を向上させるための方法を検討します。近年では、ワーク・ライフ・バランスの実現や働く環境の改善に向けたアプローチが重要な課題となっています。働く人と職場がWIN-WINの関係構築するためには、どのような働き方や職場が良いのかについて研究を進めています。

ゼミの様子



3年生の前期からゼミが始まります。ゼミは週に1回、教員と学生の小グループで発表や議論を行います。心理学を中心に、各自の興味や関心からテーマを選びます。ゼミの進め方は、自分の研究テーマに関連する心理学論文を読んで報告し、研究内容や課題について議論します。「巨人の肩に立つ」という言葉にあるように、研究に取り組む際には先行研究を十分に調べることも重要です。図書館で日本語と英語の心理学論文の検索方法を学んだり、夏休みなども自主ゼミを行い、積極的に研究を進めています。

3年生のプレ卒論



3年生の後期には、自分の研究テーマについて心理学を学ぶ同級生と教員の前で発表を行い、多様な視点から議論をする授業があります。研究計画が固まったら、調査や実験で実際にデータを収集し、研究レポートとしてまとめます。この研究レポートはプレ卒論とも言えます。例えば、調査を行う場合は、質問紙を作成し、研究協力者に依頼して回答してもらい、データの整理・解析を行い、研究レポートを完成する、という手続きを実践的に学びます。また、最終報告のプレゼンテーションもあり、研究発表の力も身に付きます。

4年生の卒業研究



4年生では卒業研究に取り組みます。3年生のプレ卒論をもとに、卒業研究ではより発展した内容や新しい視点を取り入れます。ゼミでは卒業研究のテーマについてお互いに議論し合うことにより、研究計画をブラッシュアップさせます。卒業論文の完成は大変な作業かもしれませんが、学問の世界への貢献の一步を踏み出すことになります。同時に、大学院入試、就職活動、公務員試験など進学や就職に関する活動も進めます。将来的には、公認心理師や臨床心理士などの心理資格を取得する方もいます。

上田ゼミ 保育学



3年前期 論文を読もう!



大学のゼミは、最終的に卒業論文を執筆するための二年間のプロセスとなります。便宜上、学年の前期後期と分けていますが、実際はそれらが並列に進んでいくものです。最初の段階では、これまでの基礎演習や発展演習での学びを踏まえて、自分がどのようなテーマに関心があるのかを、論文講読を通して探っていくことになります。これが第一段階「論文を読もう!」です。

3年後期 野(フィールド)にでよう!



多くの研究でもそうですが、特に保育学の研究を行うためには、実際の保育現場を知ることが必要になります。第二段階「野(フィールド)にでよう!」です。保育の場で何が起きているのか、子どもの様子はどうかを、実際のフィールドを通して観察することで、素朴な疑問が生まれてきます。論文で学んだ知見、フィールドで得た素朴な疑問を踏まえて、卒業論文のテーマを決定していきます。

4年前期 タイムマネジメントをしよう!



本学科で幼稚園教諭・保育士資格を取得していく学生は、3年生の2月に保育実習、4年生の6月か10月に幼稚園教育実習を控えています。また、そうではない学生も、3年生の後期から就職活動が始まってきます。授業の数は、1-2年生に比べて減っていますが、それ以外の部分で忙しくなってきます。自分自身の時間をきちんと管理をし、自律的なスケジュールリングをする力が必要になります。これが社会人としての基礎の力ともなってきます。(写真は、地域でのイベントに参加した様子です。)

4年後期 これまでの学びをまとめよう!



4年生の後期になれば、それまでに決めていた卒業論文のテーマに基づき、調査しまとめていくことになります(テーマによっては調査は前期に行ったりなど、様々です)。これまで、多くの論文を読み、また論文の書き方を学んできても、自分自身で書いていく段階はまた色々な迷いが生まれてくるかもしれません。しかし、卒業論文とは、これまでの学術的な知見に対して、自身のオリジナルな知見を、論理的・説得的に加えていくことになります。この力は、将来にわたって、自身の考えを感情的ではなく、論理的に伝えていく力となるかと思えます。

心理教育学科 学科紹介

カリキュラムの特色

温かな人間観と科学の眼から、人を理解し、育み、援助する

心理教育学科では、心理学と教育学の学習を基本としながら、より関心の深い分野を重点的に学ぶために、4つの履修モデルを用意しています。「次世代育成支援の課題を学ぶ」「課題解決能力の高い保育者を目指す」「人の心理と多様性を学ぶ」「心理支援の専門職を目指す」の4つの履修モデルです。どの履修モデルを選ぶかによって卒業要件となる履修科目に多少の違いがでできます。ただ、履修モデルは参考ですので、自分の関心に合わせた履修計画を立てることは可能です。また、履修モデルにかかわらず、(卒業要件となる履修科目単位以外に)心理教育学科や他学科が開講する授業を自由に受講することが可能です。

公認心理師資格 に対応しています

本学科では公認心理師受験資格に必要な科目を開講しています。なお本学では大学院人間文化研究科臨床心理コースで必要な科目の単位を修得し修了することで受験資格を取得する道が用意されています。

医療・多文化に詳しい保育者 を養成します

幼稚園教諭・保育士資格の取得にプラスαして、医療や多文化保育について詳しく学べます。そのために大学4年生で院内保育、病児保育対応のカリキュラムを看護学部と共同で行います。名古屋に多い多国籍児に対応したカリキュラムを行います。

「誰も置き去りにしない」教育学 を学べます

誰も置き去りにしない社会づくりに教育はどうか貢献できるのかを考えます。たとえば、少年支援に関する理論を学びながら、実践によって地域支援を行うことができます。また、持続可能な社会形成に関わる環境保全や異文化理解などをテーマにして開発のあり方を問いながら、教育の可能性を考えるためのESDスタディツアーに参加できます。

基幹科目	心理学概論、教育学概論2、発達心理学、心理学統計法、言語習得論、臨床心理学概論、現代教育社会学など
展開科目	人の理解 学習・言語心理学、感情・人格心理学、動作学、現代日本語論など
	人を育む 保育・教育課程総論、教育内容論、保育内容総論、教育方法論、心理学的支援法など
	生涯発達と環境 社会・集団・家族心理学、教育社会学、比較教育学、多文化保育・教育論、児童・家庭福祉論など
	心理・教育の技法 心理学実験、心理学研究法、ESD演習、保育内容演習など
関連科目	社会的養護、社会的養護内容、保育相談支援、音楽表現、身体表現、公認心理師の職責、心理実習、保育実習指導、保育実習、幼稚園教育実習など
演習(ゼミ)	基礎演習、発展演習、専門演習
卒業論文	卒業論文

心理教育学科学習プログラムの例 ※授業科目の一部を掲載しています。

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
次世代育成支援の課題を学ぶ	ESD入門 教育学概論1・2	現代教育社会学 教職概論2	ESD概論 教育課程論 教育史 比較教育学	教育方法論1 教育内容論 社会的養護 ESD演習(スタディツアー)	子ども青少年支援論 子ども青少年支援演習 社会的養護内容	教育方法論2 教育制度論	専門演習	専門演習 卒業論文
課題解決能力の高い保育者を目指す	ESD入門 教育学概論1	保育原理 現代教育社会学 学校体験活動	ESD概論 発達心理学1 児童家庭福祉論1 多文化共生の心理学	多文化保育教育論 児童家庭福祉論2 保育内容演習 (健康、人間関係、音楽的表現)	保育実習 保育内容演習 (環境、造形的表現、言葉)	保育内容総論 保育相談支援 子どもの食と栄養	医療と保育1 保育内容演習2 (健康、音楽的表現) 幼稚園実習 専門演習	医療保育実習 保育教職実践演習 (幼稚園) 専門演習 卒業論文
人の心理と多様性を学ぶ	ESD入門 心理学概論	知覚・認知心理学 臨床心理学概論	ESD概論 発達心理学1 心理学統計法1	心理学的支援法 心理学実験1 心理学統計法2 心理的アセスメント	神経・生理心理学 福祉心理学 心理学研究法	産業・組織心理学 心理学実験2	専門演習	専門演習 卒業論文
心理支援の専門職を目指す	ESD入門 心理学概論	知覚・認知心理学 臨床心理学概論 公認心理師の職責	ESD概論 発達心理学1 心理学統計法1	心理学的支援法 心理学実験1 心理学統計法2 心理的アセスメント	教育・学校心理学A 福祉心理学 人体の構造と機能および疾患 心理演習	精神疾患とその治療 関係行政論 心理学実験2 心理実習1	専門演習 心理実習2	専門演習 卒業論文

教員リスト

天谷 祐子 (あまや・ゆうこ)	発達心理学	児童期青年期の自己・社会情動的発達に関わる研究
上田 敏丈 (うえだ・はるとも)	幼児教育学	保育者の専門性、園内研修、保育者養成校研究
小川 成 (おがわ・せい)	臨床心理学	不安症に対する認知行動療法、精神医学全般
久保田健市 (くぼた・けんいち)	社会心理学	集団間関係に関する心理的プロセスの研究
古賀 弘之 (こが・ひろゆき)	音楽教育学	音楽聴取と気分・イメージ、子どもの音楽療法
佐渡 忠洋 (さど・ただひろ)	臨床心理学	イメージと心理療法、医療臨床、投映法、人間学・歴史学的研究
椎名 渉子 (しいな・しょうこ)	日本語学・方言学	育児語・子守歌詞章の地域差、談話・言語行動の地域差に関わる研究
曾我 幸代 (そが・さちよ)	教育学	ESD論、持続可能な社会づくりと教育に関する研究
谷口由希子 (たにぐち・ゆきこ)	社会福祉学	児童福祉論、貧困・生活困難にある子どもと家族の支援に関する研究
富田真紀子 (とみだ・まきこ)	臨床心理学、産業・組織心理学	ワークライフバランスに関する研究、キャリアカウンセリング・キャリア発達に関する研究
坪井 裕子 (つばい・ひろこ)	臨床心理学	心理的被害からの回復に関する研究、子どもの心理支援に関する研究
中川 敦子 (なかがわ・あつこ)	認知神経心理学	注意機能のメカニズムとその発達についての研究
野中 壽子 (のなか・ひさこ)	身体教育学	幼児期の発育発達研究、動作発達研究
山田 美香 (やまだ・みか)	教育学	アジアにおける教育学・子育て論
山中 亮 (やまなか・あきら)	臨床心理学	悲嘆カウンセリング、学生相談

わかばくらぶ



子どもたちの中には、生まれつき自分をコントロールすることがとても難しい子どもがいます。たとえば、友だちと一緒に遊ぶことが難しかったり、人の話をじっと座って聞いているのが難しかったりする場合があります。「わかばクラブ」では、このような子どもたちと一緒に、音楽や運動を通した様々な活動を行っています。活動に参加する中で、子どもたちは大人や他の子どもとの関わりを通して少しずつ変化していきます。学生はボランティアとして活動に関わる中で、子どもたちに適切に関わる経験を身につけていくことができます。

ぼぼんた



ぼぼんたは、名古屋市立大学保育サークルとして活動しています。主なメンバーは、幼稚園教諭免許状・保育士資格取得希望の学生ですが、子どもが好きで、幼稚園や保育園に子どもたちと一緒に遊び、園のお手伝いをしてみたいという学生も参加しています。名古屋市立大学川澄キャンパスにあるさくらんぼ保育園を中心に、様々な幼稚園・保育園を訪問しています。定期的・長期的に子どもたちとかわかることで、保育現場の楽しさや子どもの発達について体感することができます。その他にも、子どもたちに読み聞かせる絵本を自分たちで選ぶブックハンティングツアーなども行っています。

BBS



名市大BBS会では、名古屋保護観察所から紹介された非行少年の「ともだち活動」などを行っています。近隣の小学校のトワイライトのお手伝いもしていました。今後は、さらに、地域における子ども・少年支援の場を作っていく努力をしたいと思っています。メンバーの学生は、非行少年のお手伝いをする中で、自分の力を社会に還元をしたいという熱い気持ちを持っています。これまでの市大祭では、模擬店を出し、犯罪防止活動を行いました。

心理教育学科 学科紹介

心理教育学科

心理教育学科

取得できる免許・資格

取得免許・資格

- 保育士資格
- 幼稚園教諭一種免許状
- 公認心理師受験資格
- 認定心理士

※なお、中高の教員免許状(英語、社会、地歴、公民)、および社会福祉士国家試験受験資格の取得も可能ですが、取得するには4年以上かかる場合があります。

免許・資格についてのQ&A

Q 資格や免許を取得するには、どうすればいいですか？

A 保育士資格と幼稚園教諭一種免許状については、在学中に必要な科目を履修し、規定の単位を修得すれば、卒業と同時に取得できます。
認定心理士は日本心理学会が認定する民間資格です。心理学関係の必要な科目を履修し、卒業後、個人で申請手続きをおこなえば取得できます。

Q 複数の資格・免許を同時に取得することはできますか？

A 保育士資格と幼稚園教諭一種免許状の組み合わせについては、取得に必要な履修科目が重なっているため4年間で取得可能です。保育士資格・幼稚園教諭一種免許状と公認心理師受験資格の同時取得は、両者の取得に必要な履修科目が大きく異なっており、数多くの演習・実習が課せられており、4年間でできません。

Q 公認心理師受験資格を取得するには、どうすればいいですか？

A 大学において国が定める心理学関係の必要な科目の単位を取得し、卒業後所定の大学院(修士)修了または所定の機関において一定の実務経験を経ることで受験資格が得られます。

心理教育学科の施設



教育内容・図画工作実習室



体育・障害児教育実験室

段差を降りた時の衝撃力を床反力計で測定しています。授業時や卒業研究で使用します。



食品加工・小児栄養実習室



心理生理実験室

音や画像等の刺激を瞬時に表示する装置です。心理学実験や卒業研究で使用します。



音楽教室



ピアノ練習室

授業の空き時間を利用して、自主的にピアノの練習ができます。

授業紹介

心理実習1・2



心理実習1・2では、医療領域や、教育、福祉領域でどのような心理支援が行なわれているのかを、実際に病院や施設へ訪問して学ぶことができます。現場訪問の前に、それぞれの領域における現状や課題、心理師(士)はどのような役割にあるのかなどについて資料を作成し、発表する事前学習も行います。現場を訪問することで、心理支援に携わられている方々の熱意に刺激を受け、新しい気づきが生まれると感じます。また、授業外の活動にはなりますが、名古屋市の中学校が校内に設置している不登校生徒の居場所教室にこの授業を履修する学生の多くがボランティアとして訪問し、生徒との交流を行っています。公認心理師・臨床心理士を目指す学生にとって、現場を具体的に知ることができて得ることの多い実習の授業です。

心理学実験1・2



心理学実験1では、錯視や記憶などの心理学の主要なテーマを、体験を通して会得します。写真は、光刺激および音刺激発生装置を使って、視覚や聴覚に対する刺激への反応時間を測定している実験の様子です。実験1では、ペアやグループで実験を行うため、実験者と実験協力者どちらも経験することが特徴です。実験データの取り方やレポートの書き方を細かく学び、協力者の気持ちを知ることによって心理学実験の基礎が身につきます。
心理学実験2では自分の興味のあることをテーマにオリジナルの研究を組みます。授業では自分の研究計画を発表し、先生方や同じ受講生から意見をもらいながら自分だけの研究を行っていきます。研究計画から実施、レポートを書くまで1人で行うことは大変ですが、興味のあることを突き詰めるという研究の楽しさも感じられます。このように心理学実験は、周りのサポートを得ながら研究とはどのようなものなのかを体感できる授業です。

児童家庭福祉論2(フィールドワーク)



私は、児童福祉のゼミに所属しています。
児童養護施設や母子生活支援施設などの施設にフィールドワークに行き、新しい発見を得たり、学びを深めたりしています。私自身、フィールドワークを通して、施設の子どもたちに抱いてしまっていた無意識の偏見に気づかされ、一人一人の子どもたちに向き合った支援の方法が必要だと強く感じました。また、施設等の子どもたちに一日名古屋市大生を体験してもらい、将来を考えるきっかけになってもらえるよう、「ようこそ大学へ!プロジェクト」をゼミのメンバー中心に企画・運営しました。皆さんもぜひ、教育学を学び、子どもたちの将来を考えてみませんか？

保育内容演習(言葉)



この「保育内容演習(言葉)」では、保育・幼児教育において言語に関わる教材について学びました。絵本、紙芝居などの児童文化財に関する知識や読み聞かせなどの技術の基本を学んだとともに、子どもの発達に即して、子どもが自ら遊び表現活動をする環境づくりや教材作成、保育者の働きかけのあり方について、具体的な活動を通して、知識や技術を学びました。特に印象的だったことは、実際に自分たちで絵本を作ったことです。「別れと出会い」というテーマをもとに、親友のために森の動物たちと協力してお別れ会を準備するという物語にしました。子どもの発達や成長に沿った、絵本のストーリーや登場人物の設定、構成、言葉選びなどを考えることが難しく、グループで相談を重ねて完成することができました。

現代社会科学 学科紹介

学問のすすめ 教員の研究紹介



博士(社会福祉学)
吉田 輝美

よした てるみ

共生社会実現のために認知症施策から 社会課題を捉える

高齢者福祉に関する研究は、自分がまだ経験したことのない世界について先人から学び、当事者の声に耳を傾けながら、人生の豊かさを追求していくことであると考えています。

誰しもが認知症になる可能性があるにもかかわらず、認知症の人とその家族に対する政策は、まだまだ十分ではありません。認知症の人の意思を正しく代弁することは、どのように保障できるのでしょうか。家族というだけで、すべての介護を引き受けなければならないのでしょうか。認知症の人の人権を保障することと家族の人権を保障することが対立することなく、いかに調和させていくかが重要なことです。認知症の人との共生社会を実現するためには、公平性と寛容性の両立を目指すことが大切であると考えます。

多様な生活スタイルや価値観により、未婚化による独居高齢者の増加が予測されます。認知症になっても、本人の意思が最期まで尊重される生活環境は、誰にとってもやさしい地域づくりにつながっていきます。高齢者福祉の視点から、誰かのために、そして自分や家族のために活かす学びを、現代社会科学で深めていきましょう。

4年間の学び 卒業論文の紹介



現代社会科学 福井 敢太

メタバースという生きられた空間

— ネット社会における場所性の希求 —

「現実と遜色無い体験が仮想空間でできたら夢が広がるだろうな」というのが研究を始めた最初のきっかけです。はじめは見た目や音に注目してリアルな仮想空間の条件を考えていましたが、最終的には仮想空間の意義や役割に注目し、人間の主観的な空間認識を中心的なテーマにしました。卒業論文では、技術の発展や社会構造の変化を踏まえて、人々が仮想空間に何を求めているのかを考察しています。

卒業論文の執筆にあたっては、レルフの『場所の現象学』やハーヴェイの『ポストモダニティの条件』を参考に、意味づけられた空間としての『場所』や、人々の主観的な空間認識の変化に着目しました。

現実の社会を対象にするという特性上、社会学という土台の上で複数の領域を横断的に研究できるというのも、社会学の面白いところだと思います。単純な因果関係では回収されない現実社会に対し、構造やまなざしによって記述していく社会学の面白さを、ぜひ体験してください。

愛知県の観光振興計画の変遷と今後の課題

愛知県は第二次産業が盛んなモノづくり県という印象が強いのではないのでしょうか。そんな愛知県が、2023年にアメリカの雑誌で「世界で最も素晴らしい観光地50選」に選出されました。そこで、私は地域の観光振興の主体である自治体に着目し、愛知県の観光振興計画について、変遷とそこから見えてきた今後の課題という視点から卒業論文を執筆しました。

卒業論文を執筆するにあたって、大学4年間で履修した愛知県と観光に関する講義や、ゼミ活動として取り組んだ愛知県の観光コンペティションを通じて学んだ知識を活用し、文献調査を行いました。

社会学は、自分の身近な疑問や興味関心を様々な視点から、学術的に検証することができる奥深い学問だと思います。現代社会科学では、講義や社会調査実習、ゼミ活動などを通して社会学に関する考え方を学び、グループワークで実際の事例について他の学生と意見交換をする等の実践的な学びを積極的に行うことができます。そんな現代社会科学であなかも自分の興味関心について実践的に学んでみませんか。



現代社会科学 小林 弘果

児童に対する心理的虐待の定義が抱える課題

— 統計における心理的虐待の急増に着目して —

児童相談所における児童虐待相談対応件数が年々増加していることはニュースでよく知られています。しかし、実際に起こっている児童虐待の数が統計通りの増加をしているとは必ずしも言えません。この問題には、児童虐待をどのように定義し、統計を取る際にどのように扱うのかという課題が隠れています。

私は3年次のゼミで児童虐待について学ぶ中でこのことを指摘する論文と出会い、卒業論文のテーマに決めました。4年次にはインターネットで政府の統計データを調べた他、大学の図書館や愛知県図書館、国立国会図書館デジタルコレクション等を利用して文献調査を行いました。どのような事柄から文献調査を行うのかについて先生から助言をいただいたことで、スムーズに着手できました。

こうして卒業論文を執筆できたのは、ゼミの学生それぞれが興味をもっているテーマを3年生の時から尊重していただける環境だったからだと考えています。社会課題について学び、調査したい方には、ぜひ現代社会科学で学んでほしいです。



現代社会科学 押川 陽香

現代社会科学 学科紹介

松村ゼミ 子ども・子育て政策



ゼミのテーマ

ゼミでは、子ども・子育てに関する政策や、関連する取組を中心テーマに、行政学、公共政策学、社会福祉学、教育学、社会政策、法学、社会学などの多角的視点から考察し、理解を深めています。具体的には、子どもの貧困、教育格差、子育て支援、少子化対策など日本社会の社会課題や関連する制度・政策を整理し、日本社会のあり方について扱っています。学生の希望や関心も踏まえつつ、各トピックに応じた基本的な文献を出発点として、発表者による要約や気づきの報告に続いて、ディスカッション、現場訪問、考察・発表を行っています。



多様なフィールドワーク

ゼミでは、教室の中だけでなく、取組の現場の見学や、そこで働く方へのインタビュー調査などのフィールドワークを行っています。2023年度は、自治体やNPOが運営する子育て支援施設や子ども食堂などを訪問しました。実際に現場を訪れ、活動や話を見聞きすることで、文献からは見えてこない課題や、日本社会のあり方に気づくことができるとしています。フィールドワーク後に、それぞれの学生がレポートやプレゼンテーション資料を作成・発表し、気づきや問題意識を共有するようにしています。他の学生から学ぶことも重視しています。

ゼミの風景

ゼミでは、学生の希望や関心を踏まえつつ、各トピックに応じた基本的な文献を出発点として、発表者による要約や気づきの報告に続いて、ディスカッションを行っています。その後、フィールドワークでの現場訪問やインタビュー調査で確認したいことを整理し、フィールドワークを経て、一定のまとめができることを毎回目指しています。子ども・子育ては、社会を生きる様々な人々の知や思いを体現し、過去・現在・将来と長期にまたがる、壮大な絵巻物や万華鏡のようなものです。そのことを感じながら、毎回、みんなで楽しく活動を行っています。



集大成・財産としての卒論

3年生から行う文献の輪読や、様々なフィールドワークを経て、各学生が関心のあるテーマの学びや探究を深めていきます。集大成である卒論では、学生が選んだテーマについて、3年時から定期的に研究関心や先行研究の動向、執筆の進捗状況を報告し、教員や他の学生からのコメントを踏まえてブラッシュアップすることで、無理なく卒論が書けるようにしています。卒論は、学びをまとめるだけでなく、今後探究していきたい課題やテーマを発見することでもあります。ゼミでの経験が、卒業後も財産となるような指導を心がけています。

馬渡ゼミ 環境社会学



ゼミのテーマ： 人間と自然の和解は可能か

「人間と自然の和解」「人間による自然支配」に関するフランクフルト学派の社会思想研究からスタートし、現在は本学科で環境社会学を担当しています。地球規模の都市化や資源採掘が拡大・進行するなかで、我々を取り巻く自然環境はどのように変容していくのか。ゼミではこの大きな問いを背景に、(1)現代社会において「自然」とは何か(社会思想・理論上の問い、人々の意味や価値をめぐる問い)、(2)環境問題・公害問題はどのようにして、なぜ引き起こされるのか(社会構造上の問い)、(3)問題への対応はどのようにして、誰によって行われているのか(政策や実践上の問い)を主に考えています。



フィールドの〈声〉から学ぶ

ゼミでは文献講読・研究発表だけでなく、定期的に現地調査や施設見学を行ったり、環境啓発イベントに参加したりしています。現地では思いもよらない人と人との出会い、そしてモノや歴史、記憶との出会いが訪れます。そのようなフィールドでの出会いや交流からも、学生は多くのことを感じ、熱心に学んでいます。教室で学んだことを踏まえながらも、ひとつひとつの出会いを大切に、出会いのなかで響き合う様々な〈声〉に謙虚な姿勢で耳を傾けることが、私たちのくらしの課題を解決していく思考を育むために求められることなのです。(写真：藤前干湯でのごみ拾い活動の様子)



知的実践としてのゼミ活動

毎週のゼミは文献講読と研究発表を中心に開講しています。講読文献の対象は、環境問題・地域問題・社会運動論・リサーチメソッド等、広範に渡ります。文献を正確に読んで思考し、理解を深い水準まで高めること。互いに議論を交わしながら、各自の関心に基づいて社会構造上の課題を明確にし、将来の展望を切り拓いていくこと。これらは学部生活後半において中核となる知的実践です。報告レジュメ・毎回の議事録・論点レポート等の作成とフィードバックを交えながら、卒業論文の執筆だけでなく、卒業後の様々な仕事や活動につながる幅広い知的関心・態度・スキルの涵養に努めています。



卒業論文—社会構想を目指して—

当ゼミでは3年生後期で行うリサーチメソッドに関する文献講読を皮切りに、各自の卒業論文の構想と執筆が始まります。卒業論文は、学生が次世代の社会を構想するための足がかりです。近年のゼミ生のテーマは「環境保護活動に関わる人々の自然観」「人々はどのようにしてエンシカル消費に意識を向けるのか」「ヴィーガニズムの日本と海外の事例比較」「松本城周辺の水環境保全」「再生可能エネルギー施設の地域誘致」等、地域社会における自然環境保全、消費生活・ライフスタイルのあり方、文化的・歴史的環境の行方、エネルギー問題の展開に関わっています。自分自身が本当に重要だと思い、限られた時間のなかでも真剣に考え抜けるテーマや問いに会い、探究できるように、教員は様々なサポートを行っています。ゼミ生・教員一同、相互に学び合い、支え合いながら、ゼミという(場)はつくりられています。

現代社会学科 学科紹介

カリキュラムの特色

現代社会学科は、複雑な現代社会の姿を深く認識し、どうすれば社会のかかえる諸課題を解決できるかを考える学科です。カリキュラムは、社会学を一つの柱としながら、政治学、法学、社会福祉学、歴史学などによって現代社会を多角的に認識する力を身につけながら、現実の社会を調査し分析するスキルを身につけ、さらには社会をデザインする能力が形成されるよう組み立てられています。また、そのような理論と方法論にもとづきつつ、国や自治体のあり方をより良く構想し、都市や地域社会で起きている諸問題を解決し、住みよく魅力的な都市・地域社会をつくるにはどうしたら良いかを深く考察する力を身につけ、さらに持続可能な福祉社会を実現していくにはどのような政策や行動が必要なのかを学ぶことができます。

講義では、自治体職員、ジャーナリスト、経済人などを講師に招いて実践的な授業が展開される科目もあります。高校で「現代社会」など社会科系の科目に興味を持った方、社会問題の解決に関心が深い方は、それを専門的かつ多角的に学ぶことができます。卒業生の中には学んだ成果を生かして公務員やマスコミ・出版関係で働いたり、企業で活躍している方も多いです。

基幹科目	社会学概論、社会調査法、政治学、法学、現代社会と福祉1・2	
展開科目	都市と政策	現代都市問題、現代統治機構論、地域社会学、都市政策論、名古屋と行政
	社会と理論	社会学史、現代人権論、労働社会学、メディア社会学、ジェンダー社会学、家族社会学
	福祉と地域	介護概論、社会保障論、障害者福祉論、老人福祉論
演習・実習と卒業論文	基礎演習、ESDインターンシップ実習、社会調査実習、社会理論演習・発展演習、専門演習、卒業論文	

現代社会学科学習プログラムの例

1年次		2年次		3・4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎演習	社会学概論 社会調査論	社会調査実習 社会調査法	社会調査実習 データ解析法	社会思想史	行政法
ESD入門	現代都市問題	現代社会と福祉 障害者福祉論	観光論 NGO論	地域社会学 地方自治論	環境政策論
地理学	マイノリティとの共生		社会保障論 ジェンダー社会学	家族社会学 現代人権論	相談援助演習
グローバル経済 と環境保全	社会情報統計論	社会理論演習 政治学	現代統治機構論 現代思想 名古屋と行政	公共政策論	行政学

取得資格・免許

- 社会調査士
- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民)
- 社会福祉士国家試験受験資格
- スクール(学校)ソーシャルワーカー(日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定資格)

※なお、中高の教員免許状(英語)の取得も可能ですが、取得するには4年以上かかる場合があります。

社会調査士

「社会調査士」という資格は初めて聞くという人も多いかもしれませんが、現代社会では研究者や行政ばかりでなく、企業やNPO等市民グループも企画立案の基礎データを得るための調査を広範におこなっています。自分が必要とする情報を得るためにはどのような調査を行えばいいか? 調査は適切に行われているだろうか? 得られたデータは本当に信用できるだろうか? といったことを判断する「調査リテラシー」は現代人にとって不可欠な能力です。現代社会学科で社会調査の素養とスキルを身につけませんか?

社会福祉士

社会福祉士(ソーシャルワーカー)は、障害や疾病があるために生活をおくるうえで困難を抱えている人や経済的な問題を抱えている人、また介護の問題や人間関係の問題を抱えている人など、生活上のさまざまな課題を抱えている個人や家族に対して、相談援助機関や社会福祉施設、自治体の福祉部門、病院、社会福祉協議会などで、関係機関や家族などと連携しながら支援を行う相談援助の専門家です。近年は、学校や企業における相談支援部門や司法分野にもその活動領域を拡げています。

社会福祉士は国家資格であり、必要な科目を履修し単位を取得することで国家試験を受験する資格が取得できます。

教員リスト

安藤 究 (あんどう・きわむ)	家族社会学	人口・家族変動のもとでの世代間関係の変容の研究
伊藤 恭彦 (いとう・やすひこ)	政治学・政治哲学	現代正義論を公共政策(グローバルな財の移転、税制改革など)に応用する研究
大石 真澄 (おおいし・ますみ)	メディア社会学	1950-80年代の日本におけるテレビCMの文化的機能
岡村 優希 (おかむら・ゆうき)	民法・労働法	労働契約に関する法的研究
菊地 夏野 (きくち・なつゆ)	ジェンダー論	ジェンダーとセクシュアリティに関する社会学的研究
林 浩一郎 (はやし・こういちろう)	地域社会学	「都市再生」の社会学、リニア開発主義の研究
樋澤 吉彦 (ひざわ・よしひこ)	社会福祉学	精神保健医療福祉分野におけるソーシャルワークの専門職性に関する研究
松村 智史 (まつむら・さとし)	社会福祉学	子どもをめぐる社会保障・教育などの制度・政策に関する研究
馬渡 玲欧 (まわたり・れお)	環境社会学	産業廃棄物処分地の原状回復に関する研究、「自然の生産」の社会理論研究
三浦 哲司 (みうら・さとし)	地方自治論	都市内分権と地域自治に関する研究
宮下さおり (みやした・さおり)	労働社会学	ジェンダー間分業の社会的編成
吉田 輝美 (よした・てるみ)	社会福祉学	高齢者福祉分野の感情労働に関する研究
米川 和雄 (よなかわ・かずお)	スクールソーシャルワーク論	こども家庭・学校の包括的支援にかかわる研究

ESDインターンシップ

現代社会学科では、従来の「ソーシャル・インターンシップ」を「ESDインターンシップ」へとバージョンアップしました。大学、NPO・企業、行政が連携して持続可能な社会をつくる試みに大学生として参加する独自のインターンシップです。現在は、名古屋市役所の男女平等参画推進室のインターン生として男女共同社会の現場に参加します。こうした機会は、何のためか大学で学ぶかを深く考える経験が得られると思います。

ESDインターンシップ体験記

男女共同参画インターンシップでは、「イーブルなごや」や名古屋市役所の男女平等参画推進室において、一部の業務のお手伝いをしました。施設運営者の皆さんや施設の利用者さんと関わりながら業務に携わりました。また名古屋市役所では執務を通して、男女平等参画やワークライフバランス推進を担う前線の仕事を見られ、自分の研究を進める上で良い刺激を得られました。このインターンシップでは、文献や資料に向かっているだけではわからない社会の実態を肌で感じられます。皆さんも一歩外に出て、問題意識を深めてみてはいかがでしょうか。



現代社会科学 学科紹介

授業紹介

社会調査実習

社会調査実習とは、現代社会科学2年生のメイン科目の一つです。学科で学んだ調査方法を使いながら、調査のテーマ、実施、データの分析、発表、報告書の作成まですべて学生が主役です！ 調査結果の発表として、毎年、岐阜大学や名古屋大学、愛知大学、金城学院大学など東海地方の多数の大学とともにインターカレッジ合同報告会を開催しています。

社会調査実習は次のような特徴をもっています。

- ①講義では触れることができない社会の現場で起きているリアルな問題に触れることができる。
- ②大学で学んだ調査というチーム活動を、将来の仕事などに活かすことができる。
- ③学生同士の小グループで課題や作業を共有しながら成長していくことができる。
- ④ヒアリング・質問紙調査などを通じて調査のスキル・リテラシーを高めることができる。
- ⑤「データ」を自ら形成する経験を通じて情報の真偽・重要度を見極めるリテラシーを高めることができる。



フィールドワーク前の調査地の確認



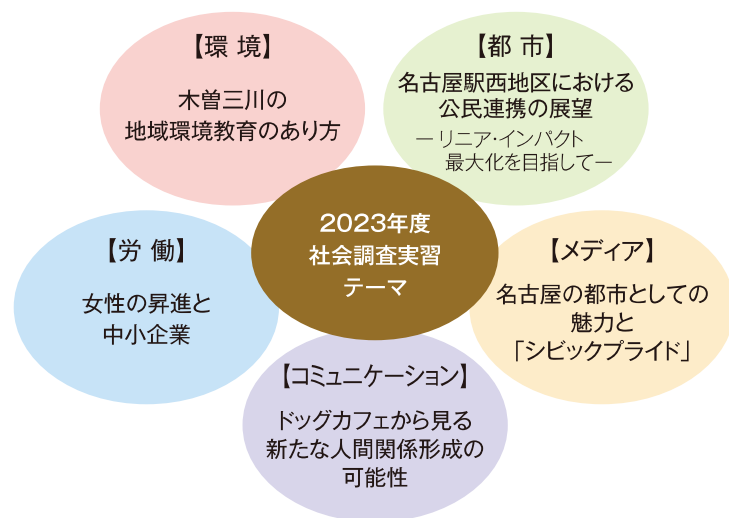
木曾川と長良川をつなぐ船頭平閘門でのフィールドワーク



東海地方の各大学との報告会



名古屋駅西でのフィールドワーク



社会調査インターカレッジゼミナールでの発表の様子

社会理論・発展演習

裸眼では混沌でしかない現代社会の諸現象から問題を浮かび上がらせるフィルターが理論です。この演習では、歴史学、法学、政治学、社会哲学の各理論を少人数で深く学びます。ただ本を読むだけではありません。理論と現実の関係を学ぶために学習を進めます。



特徴

- ①社会諸科学の理論を丹念に読み込み、理論的思考を深めます。
- ②理論的思考のトレーニングのためのプレゼンテーションや討論を重視します。



社会福祉士受験資格の取得にむけた学習

本学科では社会福祉士受験資格を取得することができます。そのため資格取得希望者は社会福祉関係の科目を中心に学ぶことになりますが、国家試験のためだけでなく、幅広く日常生活に関わる様々な問題に対応する知識と技術を身につけていきます。それによって、社会福祉の分野だけでなく、医療や教育、労働等々の様々な分野で問題解決をはかる力量を身につけることができます。

学習するポイントは以下のようなことがあげられます。

まず第一に、対人援助の理論と技術の習得です。

第二に、その援助実践を実際の場で体験する相談援助実習の授業です。

第三の特徴は、児童・家庭福祉論、障害者福祉論、老人福祉論、あるいは公的扶助論、地域福祉論などの各分野別の学習を行うことで、様々な社会的問題に対応する理論と技術を学習します。

学生による選挙出前トークの実施

2016年の公職選挙法の改正にともない、選挙権年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下がりました。このうごきにあわせ、全国各地で主権者教育の実践が始まっています。

こうしたなかで、人文社会学部の学生が瑞穂区内の高校に出向き、学生による選挙出前トークを展開しています。その内容は、学生による一票の大切さや投票の方法に関する講話、学生が模擬候補者に扮して実施する模擬選挙、模擬開票と全体の振り返り、といったプログラムから構成されます。

毎回の選挙出前トークでは、高校生は悩みながらも一票を投じており、終了後には「選挙権が得られたら、ぜひ投票に行きたい」といった感想も聞かれます。



国際文化学科 学科紹介

学問のすすめ 教員の研究紹介



博士(総合社会文化)
毛利 雅子
もうり まさこ

言葉を超えて、文化を超えて、国境を越えて

人間はコミュニケーションの手段として言葉を用いますが、言葉だけがその手段ではありません。言語に頼らない非言語コミュニケーションも重要な意思疎通の手段であり、ゼスチャーや五感なども用いて、意思の疎通を図っています。民族や国籍が異なれば、言葉も異なり慣習や文化も異なるのは自明の理ですが、その一方で、同じ人間であれば、通じ合うことが出来るはずだという考え方も存在することは事実です。また、言葉は違っても熱意があれば通じ合うはずだという主張も存在します。

それぞれの考え方を否定するのは簡単ですが、それでは何の進歩もありません。

人間は、言語・非言語によるコミュニケーション活動を行い、文化や国境を越えた活動をする事は可能ですが、同時に超えられない更なる障壁や課題があることも事実です。言語の重要性、非言語コミュニケーションの存在、伝達意思の有り方、慣習の違い、文化環境の差異など検討すべき項目は数限りなくあり、それらについて追及していくのがコミュニケーション学とも言えます。

コミュニケーション学が多くの様相を呈しているのと同じく、国際文化学科はそれぞれ異なる専門分野を研究対象とする教員で構成され、学際的な多くの学びの環境を育てています。コミュニケーションと文学、政治と経済など1つの分野だけではなく、さまざまな組み合わせの学びを推し進めることも可能です。皆さんも国際文化学科で学んでみませんか。

4年間の学び 卒業論文の紹介



国際文化学科 野村 沙代

フィリピンの児童養護施設における社会的排除 — 居場所をめぐり、抵抗する施設生活者の戦略 —

社会のあらゆることを、フィールドワークを通し当事者の視点で捉えていく。そんなゼミに所属していた私は、マニラの路上で暮らす少年の「夜も安心して眠れない」との言葉をきっかけに、フィリピンの児童養護施設に通い続けました。そこで目の当たりにしたのは、子どもたちが、彼らの権利を守るはずの施設からさえも「排除」されそうになっている事実だったのです。

なぜ彼らは「排除」の危機に陥っているのか。そして、どのように抵抗しているのか。これを問いとし、彼らを取り巻く構造を、「社会的排除」という枠組みを用い分析しています。

当事者の状況に直に触れ、生の声に突き動かされて書ききることが出来た拙稿が、少しでも彼らの力になればと願います。

葬送儀礼と情緒

— ベトナム・ホーチミンの葬送儀礼に関する文化人類学的研究 —

私は卒業論文で文化人類学分野における葬送儀礼研究に注目し、「死と情緒」や「葬送儀礼と情緒」というテーマの研究を行った。そしてベトナム南部の都市ホーチミンを調査地としたフィールドワークを行うことにより、上述の問題を明らかにする卒業論文を執筆した。現地の葬祭場や墓場でのフィールドワーク、複数名に対するインタビュー調査から、ホーチミンにおいては普遍的な死、そしてそれを取り扱う葬送儀礼が、そこに住む人々の情緒に影響を及ぼし、また一方で人々の死に対する情緒やその場で表される情緒が、実践される葬送儀礼や葬送儀礼そのものに影響を及ぼしていることが分かった。死なしに生を語ることはできないが、その死を取り扱う葬送儀礼は非常に複雑で多様である。そして結論として、本卒業論文では文化人類学における「死」の研究の重要性に言及した。



国際文化学科 小林 礼実



国際文化学科 木村 七海

台湾国民党政府に見る歴史認識の差異

私は戦後台湾の政治、経済において国民党政府の行った政策がどのように台湾に影響を与え、評価されているのかを調査しました。調査を進め、様々な視点からの国民党政府に対する評価や認識を捉えることによって、自分の歴史認識に偏りがあることに気づきました。その気づきを踏まえて、卒業論文では国民党の存在意義について考察し、さらに多角的な視点から歴史を捉えていくことの重要性についても言及しました。多角的な視点から物事を見つめることは国際文化学科の学びにも通ずるものがあったので、4年間の学びのまとめになりました。

国際文化学科 学科紹介

市川ゼミ 観光研究・文化人類学



2年生



市川ゼミの目的は「異文化研究と自文化研究」です。自文化だけを勉強するのではなく、異文化だけを知るのではなく、両方を視野に入れて理解することで日本および諸外国の様々な文化を理解することを目指します。そのために本ゼミでは共通の理論として文化人類学を学びます。そして共通のテーマとして観光を取り上げます。観光とは観光客の文化と観光地の住民の文化とが交流する場であり、自文化と異文化を研究するための絶好のテーマになるからです。そのため本ゼミでは2年生後期から観光学や文化人類学の教科書を用い、基本的な知識について学習します。また2年生の春休みには短期のフィールドワークを兼ねたゼミ合宿を行うこともあります。

4年生



4年生になると2年生以降に学んだ基礎知識と、3年生以降に得た専門知識に基づき、自分の研究テーマに関する卒業論文研究を開始します。卒業論文のテーマは多岐に渡りますが(例:日本の御朱印観光、日本のアイドルファンの文化、紅茶からみるイギリス文化の変容、アメリカ合衆国ディズニーパークにおける日本イメージ、タイ少数民族のキリスト教信仰、カナダのエスニック・マイノリティ観光…)、共通するのは「自文化研究の視点をういた異文化研究」「異文化研究の視点をういた自文化」といった「自文化研究と異文化研究」を両方取り入れた発想です。卒論を書くのは楽ではありませんが、みな達成感を楽しみながら素晴らしい卒業論文を書いています。

3年生



3年生になると本格的に「異文化研究と自文化研究」に関する勉強を開始します。2年生ゼミに引き続き、3年生のゼミでも観光学や文化人類学の専門的な論文や書籍を使ったテキスト学習を行います。ゼミ生は自分が担当したテキストの該当部分をゼミでプレゼンします。その後、他のゼミ生と共にテキストに対する質問やコメント、ディスカッションをすることにより内容の理解を深めます。さらに3年生になると自分で研究テーマを決めた研究活動も行います。ゼミ生は自己のテーマに関する学習を自主的に行い、文献資料や関連する論文を集めます。また興味を持った地域を実際に訪問し調査するフィールドワークを行うゼミ生もいます。

フィールドワーク



市川ゼミでは通常のテキスト学習以外にも、完全な自由参加ですが、短期のフィールドワークを行うこともあります。これまでに豊田スタジアム、覚王山日泰寺、岐阜県長良川鶴飼、奄美大島、ベトナム、フィリピン等で短期のフィールドワークを行いました。ゼミ生の中にはこのような経験を基に自主的にフィールドワークを行い、卒業論文を書く人もいます。フィールドワークは国内で行う学生もいるし(東京都新大久保コリアンタウン、岐阜県高山市、三重県いなべ市等)、海外で行う学生もいます。海外フィールドワークは留学中に行うゼミ生もいるし(アメリカ合衆国、カナダ、イギリス等)、自主的に海外のフィールドを訪問するゼミ生もいます(フィリピン、ベトナム、サイパン等)。

Castiglioniゼミ 日本宗教学



日本宗教の学び



Castiglioniゼミでは、前近代から近現代の日本宗教に関する代表的な思想変容と歴史や文化背景について学びます。過去の日本宗教思想を学んでいくと、現代社会にはそのかたちを変えて存在している現象や矛盾に目を向けて、多様な思想ネットワーク(仏教・神道・修験道など)を解釈する力を身につけます。宗教学は、柔軟性の高い分野であることから、文字に基づく知識だけではなく、美術、音楽、芸能、モノ文化といったアクセスポイントにも触れながら、自らが探求するための「勉強ツールキット」を見つけ出し、日本宗教に関する新しい意味を広く探ります。

3年生

—声と文字の発見—



3年では、日本宗教を広く文献を解釈することでパノラマ化し、その中から自らの研究テーマの形を決めます。ゼミでは、学生同士の交流として、互いの研究のプレゼンテーションを発表しあうことでそれぞれの成長を目指します。この発表の重要な点は、研究テーマを自分なりの観点から考えて、それを創造力とともに文章にして他者に伝えることにあります。この書くという行為には、不思議な力があります。ここで書かれる論文は、単なる文字ではなく美しい服をまとったような、深い内容を伴ったものを目指します。深く考える人は、深い文章を書く人と考え、このゼミでは「考えること・話すこと・書くこと」、この三つの大切な動作をマスターしながら次のステップの卒業への道に進みます。

2年生

—studyの発見—



2年生の後期には、発展演習を通じて、改めて学ぶこと「勉強/studyという言葉」の本質について考えるチャンスを得るでしょう。Studyの語根は「st-」または「sp-」から来ており、これは言うなれば頭をぶつけた時の衝撃を意味しています。つまり、勉強とは愛すべき研究テーマと衝突し、突き詰めることに酔いしれるような感覚を持つことです。2年生では、自分が興味を持って取り組める研究テーマを探すための導入として、日本宗教学の入門である神と仏の関係に焦点を当てて学びます。時代を経て変化を続ける信仰を、神仏融合・分離などの史実から紐解き学びへと結びつけていきます。

4年生

—自由な発想と創造力—



4年では、いよいよ卒業論文を書いていきます。まず日本宗教に関する代表的な構造・思想・実践を理解した上で、自らが愛している研究テーマに焦点を当てながら、今までにまだ研究されたことのない宗教の面を選び出して、卒業論文を仕上げっていきます。このゼミの卒業論文のトピックの例としては、中世の神仏融合・差別と宗教史・民俗芸能と神仏信仰などがあります。研究の進め方としては、定期的な原稿の発表を行います。この発表では、学生同士の意見交換や私からのアドバイスやコメント・疑問をうけ取り、そこから原稿の再検討を行っていきます。つまり卒業論文を書くのは全く孤独な仕事ではなく、ゼミの友達や私と相談しながら研鑽を積み重ねる文化的なアクティビティといえます。

国際文化学科 学科紹介

カリキュラムの特色

国際文化学科では、言語コミュニケーションの科目にとどまらず、異文化・自文化の理解、そしてそれらを比較する視点からグローバルな共生について考えていくことを目的とした、幅広いカリキュラムが用意されています。

まず、異文化理解と自文化発信のために欠かせない語学力の養成に務めます。英語科目は読む・書く・聞く・話す、の全面にわたった講義が用意されています。他の言語(ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語)についても、2年次からさらに中級レベルに語学力を伸ばすための科目が用意されています。

自らの文化への興味や理解があつてこそ、「異文化」をよりよく知ることができるでしょう。本学科では、アジア・欧米についてののみならず、日本についての歴史・思想・文学・文化・言語など、多彩な講義が選択できます。それぞれの地域や学問領域への関心は、さらに演習(ゼミナール)科目で深めることができます。

そして、国内外の学外研修・フィールドワークのプログラム、さらには短期・長期留学の単位互換などが準備されています。実践的にも広い視野にたつて、異文化間で積極的にコミュニケーションをはかることのできる人材の育成をめざしています。

基幹科目	国際文化学、国際関係論、日本文化論1、多文化社会論、観光論、国際文化特講1・2、名古屋学1・2 など	
展開科目	日本文化	日本の歴史(日本社会史)、日本文化史1・2、日本の文学1・2、人文情報学 など
	グローバル文化	文化人類学、国際協力論、共生論、国際政治史、宗教学 など
	言語・異文化コミュニケーション	Academic Presentation、Research and Discussion、独語・仏語・中国語・韓国語中級、英語学概論 など
	フィールドワーク	国内・海外フィールドワーク、ボランティア・インターンシップ、短期語学研修 など
演習(ゼミ)	基礎演習、発展演習、専門演習1~4	
卒業論文	卒業論文	

国際文化科学習プログラムの例

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
講義	多文化共生、ESD入門	国際文化学、自文化理解	名古屋学1、多文化社会論	アメリカ政治史、アジア史	国際協力論、国際法	観光論、宗教学	人文情報学	名古屋学2
演習・卒業論文	基礎演習			発展演習	専門演習1	専門演習2	専門演習3	専門演習4
	卒業論文							
言語	教養・英語(12単位)							
	英語		Academic Presentation	Academic Writing	Research and Presentation	Research and Discussion		
その他の言語	教養・その他の言語(4単位)		仏・韓国語中級(教養・その他の言語)	独・中国語中級(教養・その他の言語)	(教養・その他の言語)	(教養・その他の言語)	(教養・その他の言語)	(教養・その他の言語)

取得資格・免許

- 中学校教諭一種免許状(英語)
- 高等学校教諭一種免許状(英語)

※なお、中高の教員免許状(社会、地歴、公民)、および社会福祉士国家試験受験資格の取得も可能ですが、取得するには4年以上かかる場合があります。

語学学習プログラムの特色

- 国際文化学科は、教養・英語の単位が他学部・他学科の2倍の12単位で、多様な科目(17科目)の中から選択して多数履修でき、実用的な英語力を身につけることができる。その上で、2年次以降は専門科目として、よりアカデミックなスキルに特化したAcademic Presentation, Academic Writing, Research and Presentation, Research and Discussion が用意されていて、英語で行われる他の専門科目と合わせて、専門領域でのリサーチや卒論でも使える英語力をつけることができ、継続的な英語学習が可能となっている。
- その他の言語については、教養の必修4単位の他に、言語によっては別途、会話の科目も4単位履修可能。さらに、2年次以降、専門科目としてドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の中級科目も用意されていて、継続的な学習が可能となっている。

教員リスト

石川 優 (いしかわ・ゆう)	ポピュラー文化研究・マンガ研究・文学理論	現代日本における物語文化の研究、二次創作とボーイズラブ(BL)に関する研究
市川 哲 (いちかわ・てつ)	ツーリズム研究・文化人類学	東南アジア・オセアニアのツーリズム 名古屋のインバウンド観光
アンドレア・カステリオーニ	日本学・国際日本学	日本宗教学・日本思想史
梶浦真由美 (かじうら・まゆみ)	英語教育学	第二言語習得論、リスニングの習得など
川戸 貴史 (かわと・たかし)	歴史学	日本中世史・社会経済史・前近代アジア海域交流史
川本 徹 (かわもと・とおる)	映画学・アメリカ文学	アメリカ文化と映画・アダプテーション研究
佐藤 美弥 (さとう・よしひろ)	人文情報学・文化資源学・歴史学	文化財の保存・活用とデジタル技術の応用、日本近現代の社会・文化
杉浦 克哉 (すぎうら・かつや)	英語学、英語史、生成文法	歴史的統語論、言語変化
平田 雅己 (ひらた・まさき)	アメリカ政治外交史・平和論	20世紀アメリカ史・戦争と平和研究
毛利 雅子 (もうり・まさこ)	異文化コミュニケーション論	異文化理解・コミュニケーション
山田 敦 (やまだ・あつし)	歴史学	日本と台湾関係史研究
山本 明代 (やまもと・あきよ)	歴史学	多文化社会論・アメリカ社会論・人と移動の社会史
吉永 和加 (よしなが・わか)	西洋哲学史・フランス近現代哲学	他者論・責任論・言語論・他人とのコミュニケーションの基盤に関する研究

地域日本語教室でのインターンシップ



国際文化学科では、名古屋市と連携して名古屋市内の地域日本語教室へのインターンシップ生派遣の科目を設けています。このインターンシップでは、多文化共生社会の実現に向けた地域日本語教室の機能について学び、日本語を介した文化交流の方法を身につけることを目標としています。実習前には市の地域日本語教育コーディネーターの方から事前指導を受け、実習後の報告会では、学生の視点から今後の地域日本語教室や多文化共生のあり方について提案を行っています。

名古屋国際センター・インターンシップ制度

国際文化学科には、名古屋国際センター(NIC)インターンシップ制度(短期・長期)があります。NICは地域の国際化の推進を図る名古屋市の公益財団法人です。短期の実習では、8月下旬の一週間、定住外国人対象のカウンター業務、「国際留学生会館」の業務、NICライブラリーの蔵書整理などNIC業務の全般を体験します。長期の実習では、前後期それぞれ約5ヶ月間にわたって、NICが企画する市民参加型多文化共生企画(前期「ワールド・コロパ・フェスタ」、後期「ワールド・ユース・デイ」)の準備・運営に従事します。



名古屋国際センター(NIC)でのインターンシップ制度(長期・短期):
名古屋市の国際交流・国際貢献事業に従事しながら、授業やゼミでの学びを実践的に生かすことができる貴重な機会です。

国際文化学科 学科紹介

フィールドワーク

インド フィールドワーク

海外フィールドワーク
国際文化学科 豊田 朱理

2023年8月20日から2週間、南インドで行われたフィールドワークに参加しました。バンガロールにある大学では、インドで暮らしている亡命チベット人大学生と交流しました。亡命チベット人定住地があるムンゴットとバイラクツペでは寺院、学校、農地、病院、老人ホームなどへ行きました。インドでリアルに見たカーブによる差別、再建されたチベットの寺と街、数えきれないほどの車や人の量に圧倒され続けた2週間でした。この経験を通して、もっと世界や日本が今どんな状況なのかを知らなければいけないと強く感じました。



犬山 フィールドワーク

国内フィールドワーク
国際文化学科 金岩 穂



私は犬山市の伝統工芸品である犬山焼についてフィールドワークを行いました。

前期は犬山市の城下町へ予備調査に向き犬山の観光に関する問題意識を得ました。その問題意識をもとに夏休み期間に本調査を行い、私は犬山の観光におけるホストの犬山焼の位置づけについて調査をしました。本調査では犬山市にある陶房で実際に陶芸体験をしながら、陶芸を教えてください陶房の方にインタビューを実施し、犬山の観光を担うホストの間でもゲストに伝えたい観光の要素や観光に対する考え方に多様性があるという結論に至りました。後期は調査結果の共有と報告書の作成を行いました。

マレーシア フィールドワーク

海外フィールドワーク
国際文化学科 中野 香穂



2023年9月15日～20日にかけて、教員1名と学生11名でマレーシアのパナン島を訪問しました。マレーシアは、マレー系、中華系、インド系など様々な民族や宗教が混ざり合った多民族・多文化社会です。主に、世界文化遺産に登録されているジョージタウンでは、パナン島の観光地化による現地社会への影響に関するフィールドワークを行いました。学生は個人の興味関心に沿って調査を進めることができます。非常に短い期間ではありますが、現地ならではの英語や文化に触れられる充実した6日間となりました。

文藻外語大学 短期研修

海外フィールドワーク
国際文化学科 服部 友月

私は、大学2年生の夏休みに短期中国語研修に参加しました。様々な学部学科から13名が参加しました。この短期研修は約2週間と短期間であるため、海外留学に興味がある方には気軽に参加出来る良いプログラムだと思います。私たちは計10日文藻外語大学で中国語の語学の講義を受けました。現地の先生は中国語で指示をしますが、初めは意味を理解することが出来ず苦労しました。しかし、慣れていくうちに徐々に意味を理解することが出来ました。講義では中国語の発音に重点をおいて行われたため、文法に重点をおいた学習に慣れていた私にとっては新鮮でもとも勉強になりました。授業以外の時間には、台湾観光に出かけました。日本とは違う異文化を体感し興味深かったです。また、買い物の際に講義で習ったフレーズを使用し伝わったときは嬉しかったです。約2週間と短い期間でしたが、充実した研修であったと思います。



留学

バックネル大学

国際文化学科 高木 萌々佳
井上 恵美里

バックネル大学は、アメリカのペンシルベニア州にあるリベラルアーツカレッジです。このプログラムでは、9か月間(2学期)日本語のティーチングアシスタント(TA)として派遣されます。週に3日、大学の日本語の授業を一人で行う他、授業計画や試験の採点などをします。また、留学生として各学期1科目ずつ大学の授業を受講することができます。私たちは、ダンスや教育学、環境学等の授業を受講しました。留学生としてだけでなく、日本語を教える経験もできることが大きな特徴です。また、大学の長期休暇中にはアメリカ国内外を旅行することができるなど、自由度が高いです。高木は冬休みにダンスの集中講座をニューヨークで受講し、井上は友人の結婚式に参列するためにミシガン州に滞在しました。他の言語のTAとの共同生活や、授業計画の工夫、英語での会話など苦戦することも多くありました。しかし、プログラムを通して学んだ事、経験した事、出会った人々は私たちにとって貴重な財産です。みなさんも、ぜひ挑戦してみてください



カナダ留学

国際文化学科 松尾 美咲

私は語学を実践的に学びたいと考え、カナダ・バンクーバーにあるSELCカレッジでESLとデジタルマーケティングを専攻しました。

ESLでは発音矯正を中心に、ディベートやビジネス英語等のレッスンにも参加することで様々な場面で語学スキルを身につけました。デジタルマーケティングでは座学に加え、月毎のテストやプレゼンテーション、さらにグループプロジェクトとして現地企業へのデジタルマーケティング支援等の活動を行いました。

大学の専門外の分野に留学先で取り組むことは私にとって容易ではありませんでしたが、多国籍の仲間と一緒に悩み、支え合い、日々の目標を達成していったことは大変有意義な経験だったと実感しています。また、バンクーバーは大都市でありながら、周辺には大きな公園、ビーチや湖など友達とお出かけしたり、一人で気分転換できるレジャースポットが多いので留学先におすすめです!



アイルランド留学(語学学校)

国際文化学科 福留 初菜



小さい頃から英会話を習っており、その語学力を生かして海外で特別な経験をしたいという思いから留学を決めました。アイルランドは、当時コロナ禍で留学可能な国が限られていた中で日本人留学生が最も少ないと聞き、選びました。そして特別な経験として、レストランのウェイターというアルバイトを始めました。初めは留学生だからと注文取りの仕事はさせてもらえませんでした。ネイティブと同じ立場で働きたいと考えて上司に英語で直談判をし、その権利を得ました。長年の英会話のおかげで注文取りの仕事にもすぐに慣れ、最終的にはネイティブの同僚たちと楽しく対等に働くことができるようになりました。語学学校以外にアルバイトというコミュニティを作ったことで語学力の向上や素敵な出会いにつながり、非常に充実した留学生活になりました。英語を使って働くこととハードルが高感しますが、慣れてしまえば楽しいことばかりなので、留学した際はぜひ挑戦してみてください。

ディズニーカレッジプログラム

国際文化学科 西尾 采香



ディズニーカレッジプログラムは約5ヶ月間フロリダ州ディズニーワールドでのインターンシップや現地での授業を通じて、多角的に英語やホスピタリティ、文化などについて学ぶことができるプログラムです。現地には世界各国からキャスト・ゲストが集まっており、グローバルな環境で多彩な経験を積むことができます。5ヶ月間で、2種類の仕事を体験し、実際の生きた英語を学ぶことができるだけでなく、ルームシェアなどを通じて英語で様々なことを学ぶことができました。

海外で「学ぶ・暮らす・働く」をすべて経験でき、一生の財産になりました。自身にとっても大きな成長の機会となった、大変魅力的なプログラムです。

留学

国際交流センター

学生の海外留学や国際交流活動を支援するため、本学では国際交流センターを設置しています。国際交流センターでは学生の留学相談に個別で応じているほか、留学関連の資料や語学教材を取り揃えており、いつでも利用することができます。また、本学が提供する留学プログラムの説明会や報告会の情報を学内に発信しています。

海外の協定校からの留学生も多く利用しており、本学学生と留学生が交流する機会として様々な交流イベントの企画・運営を行っています。



トビタテ! 留学JAPAN

国際文化学科 三木 浩江



私はこの一年間休学し、「トビタテ!留学JAPAN」という制度を使い「抹茶から見る日本の可能性」をテーマにフィリピン、シンガポール、バンコク、ロンドン、ニューヨークにてインターンシップをしてきました。しかし実際、トビタテ!に応募する時は、自分が地球を一周しながら働くことなんて想像できなくて計画書を書きながら半信半疑で、不安だらけでした。でも自分が踏み出せば踏み出すほど、どんどん道が開けてくるんです。踏み込む前は大きくて恐ろしく感じた世界は入ってみると意外に楽しく面白くて新しい発見がたくさん、素敵な出会いがたくさん。新しい自分にも出会えました。だから私は挑戦することをやめられません。

私にとって留学とは「人生のヒントを得るもの」です。思えば私は、海外に行くたびに人生のヒントを持って帰ってきて、それに基づいて行動し、また海外で発見して、を繰り返しています。だからこそ、後輩には、少しでも海外に興味があるなら思い切って一歩踏み出して欲しいと思います。最初の一歩は大きいかもしれないけれど、踏み出した瞬間、世界が大きく開けるから。「あなたをワクワクさせるものは日本の外にあるかもしれない」。

留学先一覧

プログラム名	国名・地域名	派遣期間	派遣人数
パレンシア(ディズニー)国際カレッジプログラム	アメリカ	約6ヶ月	全国で選考
ハリム大学 交換留学	韓国	・半年 ・1年間	2名
南ソウル大学 交換留学	韓国	・半年 ・1年間	3名
忠南大学 交換留学	韓国	・半年 ・1年間	4名
チュアン大学 交換留学	韓国	・半年 ・1年間	2名
中央民族大学 交換留学	中国	・半年 ・1年間	3名
文藻外語大学 交換留学	台湾	・半年 ・1年間	3名
ルートヴィクスハーフェン経済大学 交換留学	ドイツ	・半年 ・1年間	3名
ライプツィヒ応用科学大学 交換留学	ドイツ	・半年 ・1年間	4名
貿易大学 交換留学	ベトナム	・半年 ・1年間	3名
プリンスオブソクラー大学 交換留学	タイ	・半年 ・1年間	4名
ニューサウスウェールズ大学付属語学学校(UNSWIL) 短期研修	オーストラリア	5週間 夏期:8月上旬~ 春季:2月上旬~	制限なし
ルートヴィクスハーフェン経済大学サマースクール研修	ドイツ	3週間(8月)	10名程度 ただし先方の選考あり
中国短期語学研修	台湾	2週間 (9月または 3月上旬~中旬)	5~10名程度
フランス語 短期研修	フランス	3週間(2月)	最大20名程度
ミシガン州立大学 短期研修	アメリカ	4週間程度 (8月中旬~ 9月中旬)	20名程度
サント・トマス大学 短期研修	フィリピン	4週間 (2月中旬~ 3月上旬)	4~20名程度
国連食糧農業機関(FAO)インターンシップ	全世界のFAOオフィス	3ヶ月~	若干名
ニューサウスウェールズ大学(UNSW) 交換留学	オーストラリア	9ヶ月間 (2月下旬~11月)	2名
パリ第13大学 交換留学	フランス	1年間 (9月~翌年8月)	1~2名
クイーンズ大学 ベイターカレッジ 派遣留学	イギリス	夏学期: 6月中旬から7月中旬 秋学期: 9月上旬から12月中旬	10名程度
バックネル大学日本語ティーチング・アシスタント(TA)奨学生制度 ※国際文化学科のみ	アメリカ	9ヶ月間 (8月~ 翌年5月中旬)	1~2名
ジャウメI世大学 短期研修	スペイン	3~4週間	~30名

文藻外語大学

国際文化学科 森村 水咲



半年間の文藻外語大学での交換留学では、世界各国からの多くの友人と出会い、毎日充実した生活を送ることができました。台湾での留学生活では、留学生向けの中国語の授業が毎日あったり、学校が留学生向けのイベントを頻りに開催してくださったり、それだけでなく自ら現地の学生と交流したりと、異なる文化を持つ人と関わる機会が多かったです。その中で中国語や他国の文化や社会はもちろん、それ以外にも多くのことを学びました。その一つが、「積極性」です。例えば、他の国の学生が授業中や友達との話し合いで自分の意見を積極的に発言することに感化され、自分自身も積極的に発言するようになりました。さらに、留学生活では、人との出会いなど、「今そこでしかできないこと」が多くあり、積極的にいなければならないほど充実した時間を送ることができる、ということも学びました。文藻外語大学は、言語の大学ということもあり、様々なバックグラウンドを持つ人と交流できる、刺激的でexcitingな環境なので、少しでも興味がある人は是非挑戦してみてください。

ルートヴィクスハーフェン経済大学

国際文化学科 筒井 和奏



ドイツでの生活を通し、ドイツの社会、文化、歴史、人々について理解を深めることができました。授業では、ドイツ語やドイツの歴史・経済についての授業、EUの授業、マーケティングの授業を履修しました。休暇には、留学生やドイツ人の友達と遊んだり、ヨーロッパ各国へ旅行に行きました。その他にも交流イベントやスポーツクラブに参加していました。留学前後で変わったことは、文化や価値観の違いを受け入れる寛容さが身についたと感じます。また、授業や他の国の友達からの話を聞き、国際問題についても自分事として捉えられるようになりました。旅行を通して、積極的に周りの人へ声をかけることができるようになったことや、想定外の出来事にも冷静に対応していく柔軟さやタフさが身につきました。

プリンスオブソクラー大学

国際文化学科 三品 美咲



私はタイのプリンスオブソクラー大学(PSU)に9ヶ月間留学しました。大学では主にヨーロッパからの留学生を対象とした留学プログラムに基づき、多様なバックグラウンドをもつ学生とともに、授業を履修しました。私の所属していたPSUのFaculty of Hospitality and Tourismでは、すべての授業が英語で実施されています。始めは慣れないことばかりで、生活にも授業にも苦労しましたが、積極的にいろいろな人に声をかけることで、少しずつ楽しみながら留学生活を送ることができました。特に、同じ留学生のドイツの子と仲良くなり、一緒に勉強したり、一緒に遊んだり、旅行したことは本当に思い出です。言語の壁、生活観の違い、食生活や気候による体調不良など、戸惑うことや大変なことも多くありましたが、9か月の間、自分の力だけで生活できたことは自分にとっての大きな挑戦であり、自分を大きく成長させたと思っています。英語力の向上はもちろん、考え方や心の持ちようも豊かになったそんな留学になったと思います。

忠南大学(1年間交換留学)

国際文化学科 国立 姫名

忠南大学はソウルから電車で1時間ほどの大田という都市にあります。私は全て韓国語進行の授業を履修したため、予習・復習・課題等に追われ大変でしたが、理解できるようになってくると楽しさも感じました。現地の学生と一緒にお互いの言語を学びあったり、大田やソウルだけでなく地方各地を旅行したりと、普段中々できないことができてとてもよい経験になりました。また、日本と似ている点がありつつも、確かな文化の違いを感じる瞬間も当然多く、異文化の面白さを知る事ができました。実際に生活し、自分の目で見て体感することで、新しい気づきと多くの学びを得ることができると思います。ぜひ留学に挑戦して自分の視野を広げてみてください。



クイーンズ大学

国際文化学科 深尾 百花



私は約3か月の間、イギリスにあるクイーンズ大学に交換留学をしました。クイーンズ大学は語学学校ではなく、海外の学生と専門的な講義を受けます。本校のあるカナダからの生徒が多く、授業ではイギリス英語を、普段の生活ではアメリカ英語を、同時に学ぶことができます。通常の課題に加えELOという課外授業があります。私のときは一週間ロンドンに滞在しました。現地の雰囲気や建物を肌を通して感じ、イギリス文化の学びを深めることができました。また休日には学校保有のミニバスが様々な場所に連れて行ってくれます。イギリスの中心のみならず、隠れた観光地・地域のお祭りに参加することも魅力です。毎分毎秒多様な価値観に触れ、たくさんの刺激を受けました。

カルガリー大学

現代社会学科 青木 冴緒



カルガリー夏期短期研修は、カナダのカルガリー大学で約4週間、英語学習を行うプログラムです。カルガリーは自然が豊かで人々もとても親切でした。滞在先はホームステイでしたが、ホストファミリーもとても親切に接してくれ、良い関係を築くことができました。休日には一緒にご飯を作ったり、散歩したりして楽しい時間を過ごせました。また、様々なアクティビティに参加することもでき、カルガリーの自然や観光地を満喫することができます。短い期間でしたが、とても充実した時間を送ることができ、とても貴重な経験となりました。

南ソウル大学

心理教育学科 松尾 風花



私は3年前期の約半年間、韓国の南ソウル大学に交換留学しました。南ソウル大学は郊外にあるため、ソウルまでは電車で2時間ほどかかりますが、韓国は日本に比べて交通費が安いので、気軽に遊びに行くことができました。また、南ソウル大学は、留学生が多く、留学生向けの韓国語の授業も豊富なため、語学堂(韓国の大学が運営する語学学校)に通わなくても、大学の授業だけで十分に韓国語を学ぶことができました。私は韓国語の授業をメインに受講し、ほかに教養や、英語の授業も受講しました。そして、日本語学科もあるので、その友だちとお互いの言語を教え合ったり、授業後にご飯を食べに行ったり、週末一緒に遊びに行ったりして、様々な思い出をつくることができました。留学は勇気がいることだと思いますが、自分の興味・関心がある国で過ごすこと、学ぶことは貴重で幸せなことだと思います。初めは不安なことも多くありましたが、多くの人と出会い、様々なことを経験して半年がとても短く感じるほど楽しく、充実した留学生活を送ることができました。

免許資格

採用試験・資格試験合格者の声

取得できる免許・資格

- 保育士資格 ●幼稚園教諭一種免許状 ●公認心理師受験資格 ●認定心理士 ●社会調査士 ●中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民) ●社会福祉士国家試験受験資格 ●スクール(学校)ソーシャルワーカー(日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定資格)
- 中学校教諭一種免許状(英語) ●高等学校教諭一種免許状(英語)



現代社会学科
森田 隼大

中学校(社会科)
教諭一種免許状
高等学校(地理歴史科)
教諭一種免許状
高等学校(公民科)
教諭一種免許状

教師の仕事は、日々の授業だけでなく、生徒・保護者との関わりや校務分掌、地域や関係機関との連携など多岐にわたる、毎日が勉強です。教師という仕事は「大変」だというイメージ以上に「やりがい」や「喜び」も感じられる仕事です。教師は「日々成長する生徒から力をもらい、自分もまた、共に成長できる」魅力あふれる仕事です。

教師には、もちろん専門知識も必要ですが、趣味や好奇心も大切です。多趣味、好奇心旺盛な人ほど、子どもも大人も様々な人と幅広く関わりがもてるからです。大学生のうちに、様々な経験をし、学び、趣味や興味関心の幅を広げてください。

教員になることを目指し、教職課程を履修しました。現在、愛知県の中学校で英語を教えています。約2割が外国籍生徒という中学校に配属され、英語が彼らや保護者とのコミュニケーション手段です。海外経験がないので、教員になって初めて必要に迫られて英語を使う経験をしました。英語を学び直したいと思い、教員向けのフルブライト奨学生プログラムで2024年8月から9ヶ月、アメリカの大学に留学することになりました。国際文化学科では、語学だけでなく多文化共生や平和論などを学びました。そこで身につけた教養を生徒たちに共有することができています。



国際文化学科
白井 沙都

中学校(英語)
教諭一種免許状

数ある福祉制度を利用者がサポートなしにうまく活用することは難しいということを知り、私は社会福祉士を志すようになりました。社会福祉士課程の講義では、障害者、高齢者、児童、援助技術など多岐にわたる学習をします。講義をただ座って聞くだけでなく、他の学生とのロールプレイングなども行いながら、より実践に近づけた学習をします。相談援助実習では障害者入所施設へ行き、実際の現場でたくさんの新たな知識や価値観に触れました。私は公務員として就職し、行政の立場から福祉に携わっていく予定です。社会福祉士課程で学んだことを基盤に、地域福祉に貢献できたらと思っています。



現代社会学科
加藤 汐梨

社会福祉士国家資格



心理教育学科
河内 翠

保育士・幼稚園教諭
一種免許状

保育士資格と幼稚園教諭免許の両方の取得、総合大学であるからこそ多様な学びを求めてこの大学へ入学しました。保育課程の講義では、一つひとつの保育活動の意義をじっくりと考え直す時間が多くあり、保育者になってからの強みとなる力を得ることができました。看護学部と連携した講義で、病棟における保育について学ぶこともできました。ゼミでは広く教育について学ぶ機会をもち、アイデアコンテストでの受賞や教材の制作など貴重な経験を積むことができました。

就職活動では、名市大での学びや経験を存分にアピールし、第一志望である幼稚園教諭の採用試験に合格することができました。これまでの経験を保育に活かし、子どもたちとともに楽しく学び続けていきたいと思っています。

学校推薦型選抜

人文社会学部の推薦入試は以下の通りです。詳しくは、学生募集要項をご確認ください。

- ・学校推薦型選抜A: 大学入学共通テストを課さない選抜になります。
- ・学校推薦型選抜B: 大学入学共通テストを課す選抜になります。(令和7年度開始New!)
- ・学校推薦型選抜(名古屋市高大接続型): 大学入学共通テストを課す選抜になります。なお、出願できる高校は、名古屋市立高等学校の現役生のみとなります。

心理教育学科

(学校推薦型選抜A・学校推薦型選抜B)

心理教育学科の学校推薦型選抜A入試では、求める学生像として「幼稚園教諭免許及び保育士資格」を取得することを前提に、乳幼児期の育ちに関わる仕事に強く就きたい方、さらに国内外の保育・教育、または子どもの発達を科学的に探究していくことに関心を持ち、子どもに関連する現代的諸課題の緩和または解決に向けて他者と協力し合い、建設的な議論ができる方を求めています。

学校推薦型選抜Bでは、人間について、その発達や個性、保育・教育環境に関心を持ち、心理学や教育学を基礎として学び、生涯発達ならびに子育て/育ちの支援に貢献しようという意欲のある人を求めています。

みなさんの応募をお待ちしております。

名古屋市立高校卒の推薦入試

(学校推薦型選抜(名古屋市高大接続型))

人文社会学部では、現代の地域社会や国際社会が直面する複雑な問題について興味関心を抱き、SDGsの視点から多面的に分析・考察し、自らの実践をとおして問題解決をめざす学生を求めています。日々変化する時代状況をふまえると、現代の社会問題を解決するためには、自らの興味関心に即した「研究の問い」を立てることが第一歩となります。その答えを追究するには、学問分野を横断した知識と発想力を養い、かつ社会と積極的にかわりをもつて、現場から学ぶ実践的な姿勢も大切です。4年間の大学生活では、自らの「研究の問い」を大切に、学びと実践の過程で問いの答えを追究し、将来は持続可能な社会を支える人材として活躍することを期待します。

※受験科目は3学科で異なります。

現代社会学科

(学校推薦型選抜A)

現代社会学科では、まちづくり・環境・観光・ジェンダー・福祉など現代社会のさまざまなテーマに興味関心を持ち、主体的かつ積極的に学内外でのフィールドワークに挑戦する、意欲的な学生を求めています。高校時代までに実践した社会課題解決の経験と実績を基盤に、自らの問題意識に根差した「研究の問い」を立て、決して正解があるわけではない「問いの答え」を追究し続ける姿勢が必要になります。入学後の4年間では何事にもどんどんチャレンジし、大学生活で数多くの知識と経験を積み重ね、将来的にはそれらを糧にして、持続可能な社会づくりに貢献できる人材として活躍してもらいたいと願っています。

国際文化学科

(学校推薦型選抜A)

国際文化学科では異文化を学ぶことにより自文化を相対化することができる学生、自文化を学ぶことにより異文化を理解しようとする学生の受験を希望します。国際文化学科は諸文化の対等な交流こそ現代社会では必要であると考えています。そのため国際文化学科に進学を希望する方は異文化に対する無理解や摩擦に起因する国際・国内問題について知的関心を持ち、国際平和に必要な多文化共生社会実現のために貢献しようとする意欲を持ち、そのために自分の考えを論理的に表現できるようになることを希望します。そのために必要なのはすぐれた外国語能力ですが、語学のみでは上記の目的を達成することは出来ません。むしろ高等学校で学ぶすべての科目における十分な学力が必要とされます。国際文化学科ではこのような受験生を希望します。

学生生活

学生の1週間

異文化交流の経験を活かし、
様々な文化間のつながりを促進できる人になりたいです。



国際文化学科 1年
金 ハナ

	月	火	水	木	金
1限	はじめての経営学			IS:The Arts IS:Social Justice	
2限	スペイン語初級2		教職概論2	キャリアデザインB	
3限	AE: Produce a Movie		自文化理解		
4限	日本語コミュニケーション		社会学概論		宇宙のなりたち

- 月曜日/午前と午後、両方とも授業を入れました。週明けで気が滅入る月曜日ですが、自分で受けたいと思って選んだ授業ばかりなのでやる気が出ます。2限は「その他の言語」科目の中から選択したスペイン語です。基礎的な知識を単元ごとに丁寧に教えてもらえるので、安心して学ぶことが出来ます。スペイン語は特に英語とも繋がる部分が多く、言語を学ぶ楽しさを日々感じています
- 火曜日/授業を履修せず、休みとしています。前日出された課題に取り組みることが多いです。多忙な月曜日の後、すぐにひと休みできるため、翌日に疲れを引きずることなくリフレッシュできます。
- 水曜日/教養科目を主として履修する1年生ですが、後期になって履修上限に余裕が出来たため、この日は専門科目を中心に履修しています。教職概論2は教職課程を履修する生徒向けの講義なのですが、卒業単位に含まれるので教師を目指していない人でも多く受講しています。意欲的な生徒が多く、刺激を受ける授業です。自文化理解は1年の選択必修科目のうち一つで、「自文化の当たり前を問はず」をテーマに様々な領域について考え議論します。日々持っていた固定観念を打ち壊され、学ぶ度に視野が広がっていくのを感じます。
- 木曜日/1限の授業は国際文化学科の華ともいえる英語の授業です。英語で進行される英語で議論する授業は非常にやり応えのあるもので、実践から得られる学びも多いです。2限のキャリアデザインBでは、いろんな企業の方々のお話を聞くことが出来ます。1年生のうちから自分の将来について考える機会となる、とても実践的のためになる授業です。授業を終えたら、昼食を取って家に帰ります。午後が空きコマなので学食をゆっくり食べられるのが嬉しいです。家に帰ってからは趣味のイラスト制作や英語の資格勉強をしています。
- 金曜日/この日は授業が午後のみなので、午前はゆったりと過ごせます。4限の宇宙のなりたちは、文系学部にいながらも理系の分野について学ぶことが出来るので新鮮で面白いです。幅広い知識を学べる教養科目ならではの楽しさだと思います。帰りは図書館で授業の内容を復習してから家に帰ることが多いです。図書館の自習スペースはとても集中できるのでおすすめです。

- 月曜日/一限の学習・言語心理学では、一年次に学んだ心理学のより専門的な内容を学びます。日常生活にも関係のある話があるため、日常の様々な場面に心理学が関係していると実感できます。二限は、子どもの理解と援助という講義を受けています。幼児期の子どもがどのような生活を送り、どのように育つのか学ぶことができます。また幼少期の子どもの心のありようについても学んでいます。
- 火曜日/この日は、一限、二限、四限とあり、三限が空きコマです。一限の環境教育論では、環境の観点から教育を考えています。子どもの発達に適した環境はどのようなものであるか、また環境問題を見つめ直すきっかけにもなる講義です。三限の空きコマでは友達とご飯を食べに行ったり、課題と一緒にしたりしてします。四限後はアルバイトがあり、アルバイトでは接客業をしていてコミュニケーションスキルの上達を心がけています。これは私が目指す名古屋市役所の職員として、多様な人と関わるのに必要なスキルだと考えています。
- 水曜日/二限から四限まで講義があります。二限の教職概論2では、教師になるために必要な知識やどのような教師像を目指すか、ベアワークを積極的にしながら学びます。三限の発展演習は、卒論に向けた調査方法や質問紙の作成などを学びます。四限の言語習得論は、日本語の発音から幼児語、オノマトペなど日本語に関する事柄を学びます。またこの日も四限後にアルバイトがあり、夜21時くらいまで働きます。
- 木曜日/1日全休であり、講義がはいっていません。そのかわりに、午後からサークル活動に参加しています。自分はサークルの代表であるため、よりサークルが楽しくなるように努めています。サークルでは、バスケットやバレーをしたり、休憩時にはみんなで会話を楽しんだりしています。
- 金曜日/二限から講義があり、二限の日本文化論2では、日本の大衆文化の一つであるアニメ・漫画について学びます。自分も知っている内容があり、講義を受けていて興味湧きます。三限の多文化保育・教育論では、国際的な保育のありようを考えています。日本と世界の保育はどのような違いがあるのか、各国で起きている実情とともに学びを深めています。

公務員として働くことを目指し、
教育に関する幅広い知見を学んでいます。



心理教育学科 2年
山田 颯大

	月	火	水	木	金
1限	学習・言語心理学	環境教育論			
2限	子どもの理解と援助	国際政治史	教職概論2		日本文化論2
3限			発展演習		多文化保育・教育論
4限		感情・人格心理学	言語習得論		

- 月曜日/月曜日は授業がなく休みであるため、土日と合わせてまとまった時間をとることができ、アルバイトや勉強、課題などに時間を費やすことができます。
- 火曜日/行政法では、私たちの暮らしを支える行政がどのような仕事でどのような方法で行っているのかを法律の面から学ぶことができます。法律の条文ではなく学説を中心に学ぶため内容が少し専門的ですが、具体例や判例などを用いて講義が行われるため身近なものとしてとらえながら理解することができます。またこの日は2限で授業が終わるので、午後からはサークル活動に参加しています。
- 水曜日/地方自治論は、公務員を目指す人にはおすすめの講義です。実際の事例や映像を用いて自治体のあり方や動向について学びを深めることができます。メディア社会学では、社会学的視点からメディアを捉え、「メディアとは何か?」やその内容・言説分析、それを取り巻く研究や学説を学びながら、メディアの役割やメディアとの接し方について考えることができます。
- 木曜日/専門演習(ゼミ)は、少人数の学生と教員で構成される研究活動を中心とした授業です。活動内容はゼミによってさまざまですが、主に活発なコミュニケーションやグループワークを軸とした活動が多いです。私のゼミでは、企画提案コンペに出場し、ほかのゼミ生と協力しながら提案内容を深めていきました。様々な人と協力することで自分にはなかった視点を得ることができます。
- 金曜日/民法では、私たちのもっとも身近な法律行為である「契約」を中心として、民法の考え方の基礎を学ぶことができます。事例が身近であるため、自分の行動を考えながら講義を受けるとより理解が深まります。日本の歴史では、高校までで習う日本史とは異なり、「貨幣」や「武士」といった特定のテーマにフォーカスしながら、その実情や近年の研究について考察していきます。講義が終わった後は図書館で一週間の復習や勉強をしたり、ご飯を食べに行くこともあります。

様々な角度から問題を見つめ、主体的に行動できる
人間になるために、日々学びを深めています。



現代社会学科 3年
田中 優斗

	月	火	水	木	金
1限		行政法	入門経済学I		民法I
2限		労働社会学	地方自治論		日本の歴史
3限			メディア社会学	専門演習(ゼミ)	名古屋学I
4限					

学生・就職支援

名古屋市立大学では、将来の働き方や生き方を考えるキャリア教育を全学で推進する体制を整えています。

学部においては「キャリアデザイン科目」が開講されており、授業を通じて仕事や生き方についての考えや理解を深めることができます。また、「インターンシップ」の科目では、名古屋市や企業で実際に就業体験を行います。在学中に正社員と同様の体験することで、卒業後の進路や就職先について現実的に検討していくことができます。

キャリア支援センターではキャリア支援専門員2名が常駐し、キャリア形成や就職活動など、学生の将来についての相談に応じています。また、企業の方を学内に招いて行われる「業界研究セミナー」や、社会で活躍しているOB・OGの方と語り合う「OB・OG座談会」などのイベントを開催し、学生の就職を支援しています。

奨学金

日本学生支援機構奨学金

- 給付奨学金は、国の高等教育修学支援新制度の一つとして、家計・学業などに関する基準に該当する学生へ支給されます。
- 貸与奨学金は、第一種(無利子)と第二種(有利子)の二種類があります。

その他の奨学金

地方公共団体、公益法人、その他団体などによる各種奨学金制度(給付制、貸与制)があります。これらは受給対象、資格要件、金額などが多種多様です。

授業料減免

国の高等教育修学支援制度の一つとして、日本学生支援機構の給付奨学金と同じ基準に該当する学生(原則として給付奨学金対象者)に対して、授業料の全額、2/3、1/3又は1/4の額が免除される制度があります。なお、留学生は異なる基準での授業料免除制度があります。

成績優秀者表彰制度

人文社会学部では、以下の表彰があります。
「瑞輝賞」:人文社会学部4年生のうち1名が成績優秀者として表彰されます。
「瑞秀賞」:人文社会学部1・2・3年生のうち各学科1名が、成績優秀者として表彰されます。

保健管理センター

学生生活を健康かつ有意義に送るために、本学では保健管理センターを設置しています。学業や人間関係で悩んだとき、何となく体調がすぐれないときなど、気軽に保健管理センターを利用してください。心の悩み、精神面での不安には、カウンセラーおよび医師が相談に応じます。相談の内容など個人の秘密は固く守られます。

キャリア支援センター

学生の就職活動や進路の相談に応じるため、本学では、キャリア支援センターを設置しています。センターにはキャリア支援専門員がおり、学生の進路や就職の相談に応じ、企業からの情報を伝えます。



卒業後の進路

就職実績

就職率(過去5年間にわたって、安定して高い就職率を保っています)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
心理教育学科(人間科学科)	98.2%	100%	96.6%	98.1%	100%
現代社会学科	97.2%	95.7%	100%	95.9%	95.8%
国際文化学科	100%	100%	97.6%	98.2%	94.9%

過去の主な進路

公務員

国家公務員

- 中部地方整備局
- 東海財務局
- 東海総合通信局
- 愛知労働局
- 名古屋法務局
- 名古屋国税局
- 家庭裁判所
- 名古屋税関
- 労働基準監督署

地方公務員

- 愛知県庁
- 岐阜県庁
- 静岡県庁
- 三重県庁
- 東京都庁
- 愛知県警
- 名古屋市
- 岐阜市
- 一宮市
- 豊田市
- 岡崎市
- 津市
- 小牧市
- 半田市
- 日進市

専門職

教員

- 愛知県(高校・英語)
- 愛知県(高校・地歴)
- 愛知県(中学・社会)
- 岐阜県(中学・英語)
- 三重県(高校・英語)
- 名古屋市(中学・英語)
- 名古屋市(幼稚園)
- 刈谷市(幼稚園)
- 愛知県内私立学校(高校・英語)
- 愛知県内私立幼稚園

保育職

- 名古屋市
- 岡崎市
- 春日井市
- 認定こども園
- 児童発達支援センター

社会福祉職(社会福祉士)

- 名古屋市社会福祉協議会
- 知多市社会福祉協議会
- 公立陶生病院
- トヨタ記念病院

企業法人

エネルギー・インフラ・運輸・製造

- 中部電力
- 東邦ガス
- トヨタ自動車
- アイシン
- デンソー
- トヨタ紡織
- 豊田自動織機
- 住友理工
- 住友電装
- 三菱電機
- トヨタシステムズ
- 日立製作所
- NTTDコモ
- NTT西日本
- NECソリューションイノベータ
- 日本特殊陶業
- DMG森精機
- セントレア
- 東海旅客鉄道
- 全日本空輸
- ヤマト運輸
- 中日本高速道路
- 名古屋鉄道
- 日本ガイン

建築・不動産

- 奥村組
- トヨタ不動産
- UR都市機構
- 大林組
- 矢作建設工業

学校法人

- 名古屋市立大学
- 愛知県立大学
- 金沢大学
- 名古屋学院大学
- 南山大学
- 学校事務職

マスコミ・出版

- 中日新聞社
- 新日本法規出版
- 読賣テレビ放送
- 北海道新聞社

銀行・金融

- 日本銀行
- 三菱UFJ銀行
- 愛知銀行
- 名古屋銀行
- 第一生命保険
- 明治安田生命
- 大和証券グループ
- 東京海上日動火災保険

教育関連

- ベネッセコーポレーション
- 秀英予備校
- 光村図書出版
- LITALICO

サービス業・情報通信・商社・その他

- JTBグループ
- エイチ・アイ・エス(HIS)
- リゾートトラスト
- 楽天
- エイチーム
- 全国農業協同組合連合会
- 日本赤十字社
- 日本年金機構
- 鈴与商事
- 岡谷鋼機
- マイナビ
- エン・ジャパン
- パナソニックグループ
- Apple Japan
- 日本IBM

大学院進学

- 名古屋市立大学大学院
- 京都大学大学院
- 名古屋大学大学院
- 岐阜大学大学院

就活・進学体験記

心理教育学科 古川 穂香

三菱電機株式会社



私は心理教育学科で教育分野を専攻し、その中でも社会的養護や児童福祉制度を中心に学びを深めました。講義内では虐待を受けた児童の保護に関する施策や虐待を行った保護者への支援についての事例を学び、その上で他の受講生と共により良い制度のあり方や制度の現状の課題点について話し合うようなグループワークに取り組みました。児童虐待の事例検討においてどんな支援が必要か考える際には、虐待を受けた子どもの視点に加え、子どもに虐待をしてしまった保護者の視点をもつことが大切になります。事例検討を行う中で、1つの物事を多面的に見ようとする姿勢を培うことができました。また、自分以外の受講生との意見交換をすることでコミュニケーションを適切にとる力が身についたと感じます。講義を通して獲得したこれらの姿勢や力を活かし、社会人になってからも様々な立場や視点を柔軟に受け入れ、社員の困り事解決を支援できるような人事施策や企画の運営に取り組んでいきたいです。

心理教育学科 隅田 春菜

パナソニックコネクテ株式会社



私は、人の思考や行動の理由など幅広く学ぶことができる心理学を勉強したいと思い、心理学科があるこの大学に入学を決めました。大学入学時は、大学院に進み臨床心理士や公認心理師の資格を取り、自分が好きな心理学が活かせる職業に就きたいと考えていました。ですが、大学2年の時、家庭の事情で大学院に進学するのが難しくなりました。進路について悩んでいた時、産業・組織心理学を学ぶ授業で企業の人事の方のお話を聞く機会や、心理学の理論から組織の生産性を高める役割があるということを知りました。その経験から、日常生活の中で自分が所属する組織で心理学的にどのような働きかけをすれば、人の行動に良い影響を与えることができるか考え、サークルの運営など組織に貢献することがより楽しくなりました。そこで、人の視点から企業の生産性を高める、人事職コースでの採用がある企業に就職を決めました。心理学科では、臨床分野だけではなく、知覚や教育、組織など様々な分野に関する講義を受けることができ、自分の興味のある分野について心理学的な知見を深めることができました。幅広い分野の講義で、心理学と社会との接点を知る機会をいただけたので、興味関心を活かした仕事に就くことができたと感じます。

現代社会学科 渡邊 璃音

愛知県庁



高校生の頃から自分が住んでいる地域に関わる仕事がしたいという思いから公務員を志望していましたが、3年次のゼミ活動でより規模の大きな政策立案に携わりたいと考え、愛知県庁を志望するようになりました。現代社会学科では地方自治など行政についての講義をはじめ、現代社会で起こる様々な問題を学ぶことができるため、講義で学んだことが論文や面接の際に役立ちました。また、ゼミで観光アワードや選挙啓発の出前トークなどを経験したことが、面接に活かされたと思います。公務員試験は筆記試験に加えて面接もあるため時に投げ出さなくなることもありますが、名古屋市には公務員志望の学生が多いこともあり、励まし合いながら乗り越えることができました。

現代社会学科 橋本 愛蓮

東急プロパティマネジメント株式会社



私は、まちづくりに関心をもち、現代社会学科で関連する講義や演習を履修してきました。都市開発の歴史を調査した社会調査実習、観光政策コンペに挑戦したゼミ活動では、ヒアリング調査などを行い、資料などからは分からない想いに触れました。就職活動では、こうした経験を簡潔に・魅力的に伝えられるかを意識しました。結果が伴わないこともあり、辛い時期もありましたが、ブラッシュアップを繰り返したことで、内定をいただくことができました。多彩な講義や演習で得た知見・経験を評価していただいたと感じています。卒業後は、不動産管理・不動産運営を行う会社に就職します。様々な角度からまちづくりを捉えた大学時代の学びを、実践していきたいです。

国際文化学科 服部 皓介

BDO三優監査法人



入学時からコロナの影響で学生生活にゆとりがあったため、将来を見据えて様々なことに挑戦をしようと思いました。その中で、次第に就職を意識し始め、大学で学ぶ国際的な見識と掛け合わせて就職へと結びつけられるよう、目をつけたのが会計系の資格でした。簿記の学習から始め、2年生の夏から本格的に公認会計士を目指し始めました。3年生の時には入学時からの友人が二人とも留学に行ったため、自分もそれに負けないよう勉強を続け、3年次に1次試験、4年次に2次試験に合格することができました。家族だけでなく、ずっと合格を信じて応援してくれたり目標に向かって挑戦したりする友人のいる環境が、公認会計士試験合格への支えになりました。

国際文化学科 鳥井 楓乃

株式会社デンソー



私はホームステイなどの海外経験があり、入学前から漠然と将来はグローバルに活躍したいと考えていました。国際文化学科では、国際関係や外国の歴史・文化、さらに日本文化についても理解を深めることができました。また、英語や第二言語に加えて、外国人講師の授業もあるので、4年間外国語に触れることを意識し続けました。就職活動では、社会で人々の移動の可能性を広げるための仕事に就きたいと思い、日本と外国を繋ぐ自動車業界を選びました。この将来像の原体験として、学内での留学生支援の活動や学生団体の経験、ゼミでの学びを活かすことができたと思います。大学にはキャリアセンターや先輩の体験記など様々な支援があるので、活用してみてください。*記事の内容は全て個人の見解であり、会社を代表するものではありません。

学生生活

Campus Life!

運動系クラブ

硬式野球部/準硬式野球部/硬式テニス部/ソフトテニス部/バレーボール部/医療系バレーボール部/バドミントン部/バスケットボール部
ゴルフ部/剣道部/馬術部/ワンダーフォーゲル部/弓道部/ラグビー部/卓球部/医療系卓球部/柔道部/水泳部/スキー部/空手道部
陸上競技部/サッカー部/医学部サッカー部/日本拳法部/ハンドボール部/医学部ハンドボール部/サイクリング部/医学部バドミントン部
医療系スノーボード部

運動系同好会

C-CUBE/BENCH START/RISE☆/全学バドミントンサークルA&S/金曜日のタマたちへ/Saltiamo!!/D.D./スノーボード同好会/CALCIO
FC ALKALOSIS/Eagle/医学部弓道サークル/理学部バドミントンサークル

文化系クラブ

オーケストラ部/ギターマンドリンクラブ/混声合唱部/軽音楽部/邦楽部/アイセック名古屋市立大学委員会/演劇部/茶華道部
障害者問題研究会/東洋医学研究会/文藝部/手話部/蝶ヶ岳ボランティア診療班/ストリートダンス部Hip Hop Café/ダンス部カリクレイン
写真部/名古屋市博物館サポーターMARO/生協学生委員会/大衆文化研究会/アカペラサークルAndante/救急救命サークルMeLSC/NCU FM!

文化系同好会

MoL/NCU.info/ぼほんた/NCU GO!/国際保健看護サークルAGH/名古屋市大学生消防団名古屋市立大学分団/鉄道研究会
競技かるたサークル/POST/クイズ研究会/映像によるまちづくり/よいしょ/なごぬいぐるみ病院/紅茶同好会/名古屋市大学生新聞会
歴史研究会/CIRCULO/テーマパーク・ライブ同好会/謎解きサークルSoaR/名古屋市大スプラサークル/CONE

バレーボール部

毎週火、金、日曜日に、滝子キャンパスの体育館で活動しています。バレーをやってみよう！上を目指したい！大学生でも部活を続けたい！という有志が幅広い学部から集まり、自分たちで試行錯誤しながら活動をしています。大学生活における部活動は自主性が強調され、高校時代とは違う面白みがあります。バレーの楽しさが詰まった活動は充実そのものです！

障害者問題研究会

障害者問題研究会、略して障問研(しょうもんけん)です！障問研は1978年創立のボランティアサークルです。月に一度、知的障害がある方々(私たちは仲間と呼んでいます)とお出かけやレクリエーション、作業をします。活動は月2回! 第3水曜日に打ち合わせ(勉強会)、第3日曜日に仲間との交流会(日学)をします! 令和2年には、長年の活動の功績が認められ、文部科学大臣から表彰も受けました!

卓球部

卓球部は、週に2回(1回の練習は約2時間程度、自主練習時間も)、体育館卓球場で活動しています。部員は約20名で、みんなで楽しく練習しています。人文社会学部のほか、経済や総合生命理理学部の部員も多いです。定期的に、東海学生卓球連盟や愛知県卓球協会主催の大会に出場もしています。優しい先輩ばかりで相談も気軽にできますよ。

名古屋市博物館サポーターMARO

MAROは名古屋市博物館の魅力をもっと多くの若者に知ってもらうため、博物館でのイベント運営など様々な活動を行っています。学芸員さんと話し合いつつ企画の提案から本番まで自分たちで行うため、座学では学べないような経験が沢山できます。外部の方とも関わる事ができ、人文社会学部や芸術工学部、薬学部など様々な学部生が在籍しているため多方面に交友関係を広めることもできますよ。(名古屋市博物館は令和8年度[予定]まで休館中の為、その他活動を企画・実施中)

弓道部

弓道部は滝子キャンパス内の弓道場で週3日、リーグ戦昇格に向けて練習に励んでいます。部員は25名程度で、学部も様々です。近くにある名古屋女子大学と合同の部活なので、学外の友達も増えます! 大学から弓道を始める初心者の子も多いです。8月には長野県で1週間程度の夏合宿を行い、部員同士の絆を深めることができます!

軽音楽部

滝子キャンパス内の部室でバンドごとに練習を行い、学内外でライブ活動をしています。6月には学内のNCUホールを借りて水無月ライブ、11月には市大祭ライブ、12月には名古屋のライブハウスで定期演奏会を開催しています。8月には長野県で1週間の夏合宿も。男女合わせて100人程度の部員が所属する大所帯ながら、先輩と後輩の関係は熱いですよ。

Information List

入試情報

	学 科	種 類	募集人員	出願期間	試験日	合格発表
一般入試	心理教育学科	前期日程	42名	1月下旬	2/25	3月初旬
		後期日程	12名		3/12	3月下旬
	現代社会学科	前期日程	49名		2/25	3月初旬
		後期日程	8名		3/12	3月下旬
	国際文化学科	前期日程	45名		2/25	3月初旬
		後期日程	12名		3/12	3月下旬
推薦入試・その他	心理教育学科	推薦入試A	5名	11月上旬	11月下旬	12月上旬
		帰国生徒・外国学校出身者	若干名			
		私費外国人留学生	若干名			
		学校推薦型選抜 名古屋市 高大接続型 推薦入試B	5名 20名			
	現代社会学科	推薦入試A	10名	11月上旬	11月下旬	12月上旬
		帰国生徒・外国学校出身者	若干名			
		私費外国人留学生	若干名			
		学校推薦型選抜 (名古屋市高大接続型)	3名			
	国際文化学科	推薦入試A	6名	11月上旬	11月下旬	12月上旬
		帰国生徒・外国学校出身者	2名			
		私費外国人留学生	3名			
		学校推薦型選抜 (名古屋市高大接続型)	3名			

地域貢献・大学の活動など

マンデーサロン

本学部教員や大学院生による研究の報告・発表会を催しています。開催予定のテーマ・日時・場所についてはホームページで公開していますので、興味のあるテーマがありましたら気軽に参加してみてください。



テーマ:「沈黙、修行、板碑―近世の湯殿山信仰―」
講師: アンドレア・カステリオーニ(国際文化学科)

ようこそ大学へ! プロジェクト ~施設の子どもたちへの学習支援~

児童養護施設等で生活する子どもたちへの学習支援と高校・大学進学への動機づけを目的とした大学体験企画です。名古屋市子ども青少年局との共同企画として、平成25年度から毎年開催しています。プロジェクト当日は、施設や里親家庭で生活する小中学生・高校生が名古屋市立大学の「一日学生証」を持ち、大学生となってキャンパス内で学びます。



本プログラムにおける本学学生による大学紹介

高大連携イベント

「持続可能な都市・なごやへの高校生・大学生からの提案」をメインテーマにして、毎年変わるサブテーマ-SDGs(持続可能な開発目標)に関連する現代的課題にあわせて、人文社会学部のゼミ生グループ、高校生グループ等が日頃の学びの成果を報告します。報告後は高校生と大学生が混合のチームを組み、ワークショップを通してオリジナルな提案を考え、発表します。



報告後のワークショップにて本学学生と高校生

同窓会

人文社会学部同窓会「瑞桜会」は、現在、会長以下、約10名の役員で活動しています。

人文社会学部の創設が1996年ですから、同窓会も数年前に「成人式」を迎えたばかりです。ただその分、前例や慣習にとらわれることなく、自由な発想で活動しております。

同窓会会報発行の他、学部との共催で、歴代の卒業生が集う「ホームカミングデー」や、社会で活躍する卒業生を招いての講演会「ようこそ先輩」等を企画・運営しています。また、平成29年度からは、在学生支援事業として、海外留学の支援も開始しました。

まだまだ歴史の浅い瑞桜会ですが、人文社会学部を盛り立てるべく、活動しております!



名古屋市立大学人文社会学部同窓会



2017年度 ホームカミングデー

人文社会学部20周年の際に、同窓生による投票で決定した瑞桜会ロゴマークです

お問い合わせ

内 容	問い合わせ先	電話番号	FAX番号
入試や入学に関すること	事務局学生課入試係	052-853-8020	052-841-7428
学生支援に関すること	事務局学生課学生支援係	052-872-5042	052-872-5044
授業の内容に関すること	(教養教育)事務局教務企画室	052-872-5803	052-872-1531
	(専門教育)山の畑事務局人文社会学部学務係	052-872-5808	052-872-1531
寄附に関すること	事務局総務課庶務係	052-853-8005	052-841-6201

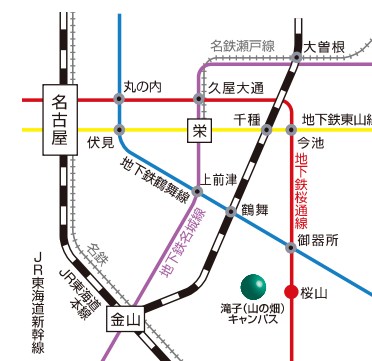
Facebookページもチェック
<https://www.facebook.com/NagoyaCity.Univ/>



NC 名古屋市立大学
 人文社会学部
 NAGOYA CITY UNIVERSITY
 School of Humanities and Social Sciences

滝子(山の畑)キャンパス

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地 TEL 052-872-5808 E-mail: office@hum.nagoya-cu.ac.jp
 人文社会学部・大学院人間文化研究科ホームページ <https://www.nagoya-cu.ac.jp/human/>



地下鉄 桜通線「桜山」駅下車⑤・⑥・⑦番出口より徒歩12分



市バス 金山②のりばより金山11・12・16「滝子」下車 金山③のりばより金山14「滝子」下車



SDGs実現のためのESD行動宣言

人間文化研究科
2022年8月25日



持続可能な開発目標 (SDGs=Sustainable Development Goals)を達成するには、ホリスティックなアプローチが必要であり、その要となるものがESD (Education for Sustainable Development)です。これまで名古屋市立大学大学院人間文化研究科・人文社会学部は、こうしたESDを理念として教育・研究活動を推進してきました。

現在進行している気候変動の危機的状況や国際情勢を踏まえて、ここに、あらためて、SDGs達成に向けた人文科学・社会科学を中心とした研究を進めるとともに、それらの研究を背景としたESDを一層深化させることを宣言します。

1. 他の諸機関や地域社会などで参考となるSDGs・ESDに関する活動 (教員の研究や学生の活動を含む)を広く発信し共有します。
2. これまで以上にSDGs・ESDに関する活動が活発になるよう研究科・学部の体制を整備します。
3. SDGs・ESDに関するFDを継続的に実施します。
4. 公開講座などを通じて、本学の学生以外にもESDを実施することで、SDGs達成に向けて主体的に行動する人を育成します。
5. 高大連携をはじめ、学外の諸機関と連携し、SDGs・ESDに関する協働を促進します。

